

2013年5月15日発行

K

(社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

5 2013
May
No.251

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[25.4.1現在]

3,667名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P7▶活動報告 P10▶会員ライフサポート部活動報告39報 P12▶会長行動報告
P13▶学会情報 P15▶研修会・講習会 P17▶information P19▶理事会報告 P25▶ちよいんと P26▶解剖こぼれ話/いい本みつけ。
P27▶求人案内 P32▶編集後記/原稿・広告送付先

巻頭言



「暗黙知」

昭和大学保健医療学部理学療法学科
関屋 昇

ヒトの動作には不思議なことが多い。私はテニス好きで、学生時代には試験の日にも、臨床実習のときにも、時間があれば日没までテニスで汗を流したことを今でもよく覚えている。子育てが一段落してきた頃から、週1回のテニスを日課にして20年くらいになる。その経験を通じて、テニスのスキルにとって「打つ瞬間に頭を空間で固定すること」と「常に体軸を垂直に保つこと」が重要であることを実感した。特に「頭を動かすな」というのは、テニスに限らず、物を打つスポーツではよく言われて常識になっているだろう。

しかし、この常識が最近の研究(2008)の中でひっくり返されてしまった。簡単にお話ししよう。初心者とプロゴルファーにパットをしてもらい、その時の頭とパターの動きの3次元動作解析が行われた。パットの精度が圧倒的にプロのほうが高かったのは当然であるが、初心者の頭の動きの大きさとプロゴルファーの頭の動きの大きさには明らかな違いがなかったのである。テニスの結果ではないが、止まっているものを打つゴルフなら、なおさら頭を固定したほうが良いように思える。実はこの結果には続きがある。初心者とプロゴルファーの間に動きの大きさの違いはないが、動きの向きが異なったのである。初心者はパターを後ろに引くときに頭も一緒に後ろに、パターが前に動くときには頭も一緒に動くのに対し、プロゴルファーはパターと頭を逆向きに動かすのである。ここで強調したいのは、プロと初心者の違いというより、プロレベルのゴルファーでも頭を動かしてしまうという事実と、自分の頭が動いていることに気がつかないことである。

ゴルフにおける頭の固定については大御所のコメントもある。ジャック・ニクラウスは、「パット(特に短いパット)のミスの最も大きな技術的原因は頭の動きだ(1974)」と言っているし、タイガー・ウッズは、「良いパットというのは初めから終わりまで頭を絶対に動かさない。悪いパッ

トというのは、少し頭を動かしてしまう。もし私が頭を少しでも動かしてしまうと、ボールの軌跡を正しく安定して作り出すことができないし、しっかりとボールを打てない(2001)」と言っている。ゴルフのエキスパート全員が上述の同じパターンでパットを行ったのだから、そのパターンがパットというスキルにとって合理的なものと考えてよいだろう。しかし、エキスパートたちが意識していることと客観的な事実の間の、この矛盾はどこから来るのだろうか。

運動スキルは手続き的知識あるいは暗黙知と言われる。つまり、動作者が意識できない知識ということである。比較的単純な身体運動と思われるゴルフのパットでさえ、プロレベルのゴルファーでも、自分の身体の動きを客観的には意識できないというのは驚きである。一度スキルを習得してしまうと、重要なポイントにだけ意識を向ければ動作が自動的に行われて非常に都合が良いのだが、そのことが逆に、動作を理解しようとするときには妨げになってしまう。ここにヒトの動作を理解することの難しさの一つがある。ゴルフのパットのような動作でさえ、長い進化のプロセスの中で作られてきた複雑な基盤(筋骨格系にしても神経系にしても)の上で、無数の練習の後に獲得されるはずである。しかし、その基盤がどのようになっているかはあまりよくわかっていない。これらの基盤を含めて動作を理解することは極めて難しいものとなっている。私たちが対象とする動作障害はそのような基盤の崩壊によって生じたものである。さらに話がややこしくなる。

ヒトの動作研究は莫大な数に上るし、また、最近の計測技術の進歩によって身体の動きや神経系の活動がリアルタイムに把握できるようになってきた。しかし、完全な理解とその応用のためには、動作研究は緒についたばかりと言うべきであろう。いよいよこれからである。若い方たちの活躍に期待したい。

新人教育プログラム

平成25年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム

講座名	履修ポイント基準 ※1 (テーマ)	必須選択		修了要件 (単位数) ※5
		必須	選択	
必須初期研修 ※2	A-1 理学療法と倫理	1		1
	A-2 協会組織と生涯学習システム	1		1
	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1		1
	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1		1
	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)	1		1
理学療法の基礎 ※3	B-1 一次救命処置と基本処置		1	3
	B-2 クリニカルリーズニング		1	
	B-3 統計方法論 ※4		1	
	B-4 症例報告・発表の仕方 ※4		1	
理学療法の専門性 ※3	D-1 社会の中の理学療法		1	
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域		1	
	D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT 含む)		1	
理学療法における 人材の育成 ※3	E-2 コーチングと ティーチング (コミュニケーションスキル含む)		1	
	E-3 国際社会と理学療法		1	
	E-1 臨床実習指導方法論		1	
理学療法の臨床 ※3	C-1 神経系疾患の理学療法		1	
	C-2 運動器疾患の理学療法		1	
	C-3 内部障害の理学療法		1	
	C-4 高齢者の理学療法		1	
	C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む)		1	
	C-6 症例発表		3	
	C-7 士会活動・社会貢献		1	
計				15 ※6

※1：履修ポイント基準とは、新人教育プログラムにおけるテーマと単位の関係を表します。

※2：「必須初期研修」(A-1～5)の5単位は必修です。

※3：選択10単位は、理学療法の基礎(B-1～4)：選択3単位、理学療法の臨床(C-1～7)：選択4単位、理学療法の専門性(D-1～3)：選択2

※4：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除(平成24年度入会者より該当)。申請の必要はありません。協会ホームページ

※5：重複した履修ポイント基準(テーマ)を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。

※6：新人教育プログラムの修了要件は、必須5単位と選択10単位の合計15単位の履修になります。協会入会1年目でも修了可能です。

※7：理学療法の臨床(C-1～5)は、下記の講習会・研修会で履修できます。ホームページやニュースでご確認ください。

全国の情報は、協会ホームページ内のセミナー・講習情報閲覧画面(<https://www.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>)の詳細情報

※8：県士会ホームページ内「生涯学習システム」申請・認定要件に従って申請してください。

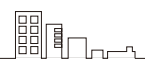
※9：県士会ホームページやニュースでご確認ください。

選択研修(理学療法の臨床(C-1～5))に該当する講習会・研修会

履修ポイント基準	講習会名	日時	テーマ
C-3 内部障害の理学療法	内部障害領域講習会	7月28日(日)	「摂食嚥下と呼吸」
C-4 高齢者の理学療法	リーダー研修会	8月18日(日)	「応用行動分析学」
C-1 神経系疾患の理学療法	小児領域講習会	10月20日(日)	「学習障害」
C-1 神経系疾患の理学療法	神経系領域講習会	11月10日(日)	「脳科学と歩行」
C-2 運動器疾患の理学療法	運動器領域講習会	平成26年1月26日(日)	「足底板」

※その他：日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会(基礎編)、学術大会・ブロックPT学会・都道府県士会主催研修会・講習会、士会PT学会

※上記以外：日本理学療法士協会ホームページ、日本理学療法士協会(JPTA)ニュース、神奈川県理学療法士会ホームページ、神奈川県理学療法



ム学術講習会・研修会予定

(生涯学習部・学術講習部・臨床実習教育部)

研修会名	開催日	会場
第1回新人教育プログラム研修会	6月23日(日)	横須賀市文化会館 大ホール
第2回新人教育プログラム研修会	9月8日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
第3回新人教育プログラム研修会	12月1日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
臨床実習教育部研修会(ケーススタディ)	9月1日(日)	町田市文化交流センター
臨床実習教育部研修会(実習指導～動作解析～)	平成26年2月2日(日)	ウィリング横浜
日本理学療法士協会主催理学療法士講習会(基本編)への参加、各都道府県士会主催の研修会・講習会への参加、学会における新人教育プログラムなど ※7		
学術発表・論文発表 ※8		
各都道府県理学療法士会が認定した活動に参加 ※9		

単位、理学療法における人材の育成(E-1～3):選択1単位となります。
 ジ内 会員専用サイト「マイページ」にてご確認ください。

報でご確認ください。

講師名	所属	会場
小泉 千秋 先生	七沢リハビリテーション病院脳血管センター	神奈川リハビリテーション病院
山本 淳一 先生	慶応義塾大学	(未定)
楠 孝文 先生、水本 憲枝 先生	愛媛県立子ども療育センター	(未定)
森岡 周 先生	畿央大学 健康科学部	(未定)
入谷 誠 先生	足と歩きの研究所	(未定)

における新人教育プログラム
 士会ニュース等でご確認ください。

新人教育プログラム

平成25年度新人教育プログラムに関するお知らせ

生涯学習部

平成24年度より新人教育プログラムが変わりました。つきましては、新人教育プログラム修了までの流れおよび手続きについてお知らせいたします。

I. 新人教育プログラム修了までの流れ (図)

新人教育プログラムは計15単位を1年以上かけて履修することで修了となります。履修単位は日本理学療法士協会(以下、協会)が一元管理します。

1 「マイページ」による履修状況の確認について

新人教育プログラムを履修中の方は、必ず協会ホームページ内 会員専用サイト「マイページ」で履修状況を確認し、取得している単位と不足している単位を確認して受講してください。

2 新人教育プログラムの修了申請について

「マイページ」内で修了済みになっている方は、「マイページ」内で修了申請をしてください。“仮修了”となりますので、続けて専門領域研究部会への入会処理をすることで“修了”となります。修了すると「新人教育プログラム修了証」が協会事務局より送付されます。

II. 新人教育プログラムの単位取得について

新人教育プログラムの修了要件は15単位の履修になります。

(※理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては13単位です)

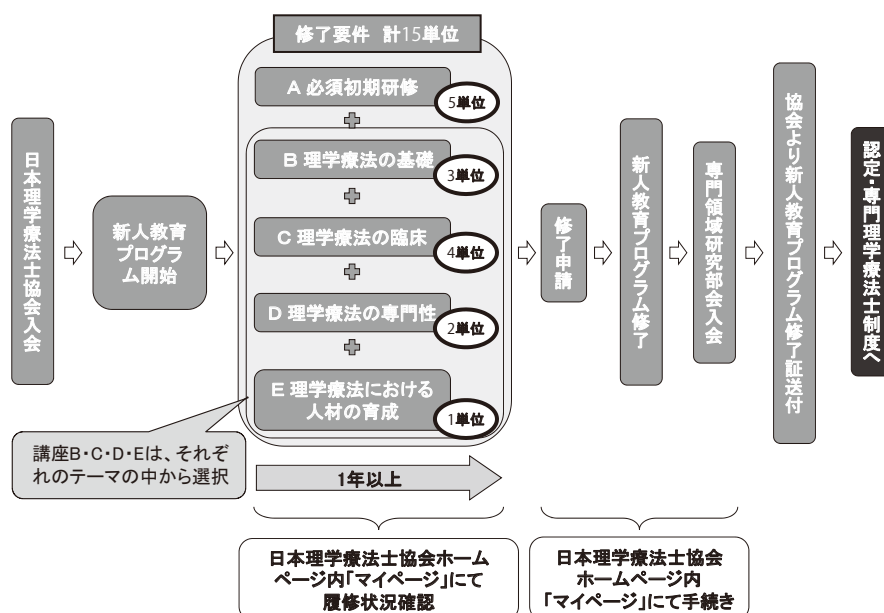
15単位は、必須5単位、選択10単位で構成され、新人教育プログラム対象者は必須5単位である 必須初期研修 (A-1～5) の受講が義務づけられています。

選択10単位の内訳は、理学療法の基礎 (B-1～4) は4テーマの中から3単位、理学療法の臨床 (C-1～7) は7テーマの中から4単位、理学療法の専門性 (D-1～3) は3テーマの中から2単位、理学療法における人材の育成 (E-1～3) は3テーマの中から1単位を取得することになります。

理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては、協会の指定する2単位(「統計方法論」および「症例報告・発表の仕方」)が免除されます。

なお、重複した履修ポイント基準(テーマ)を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。

図)新人教育プログラム修了までの流れ





1 受講研修会について

本会の今年度の予定は、県士会ニュース5月号「平成25年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」をご覧ください。最新の情報は本会ホームページに提示されます。また他都道府県士会で企画される新人教育プログラム研修会でも履修可能です。協会ホームページ内「学会研修会情報」をご参照ください。

2 受講の仕方

受講希望者は、神奈川県理学療法士会（以下、本会）ホームページからのWeb受付にての事前登録をしていただきます。受付締め切りになると受講予定者一覧としてデータを作成する関係上、締め切り後の申し込みや当日受付は一切できません。必ず事前にWeb受付をして受講してください。Web受付にて事前登録をすると受付完了の返信メールが届きます。研修会当日は、返信メールの内容を印刷するか画面で確認できるものをご持参ください。

3 協会会員証による入退室管理について

協会会員証は、受付処理および受講確認のために必要ですので必ずお持ちください。受講開始時と終了時に使用します。

4 単位認定について

研修会や講習会の受付にて登録されます。受付において受講開始時と終了時の2回会員カードをかざすことで登録が完了します。ただし、どちらか確認できない場合登録ができない可能性がありますのでご注意ください。なお「マイページ」には、研修会の終了後3～6週間ほどで反映されます。

①「C-6 症例発表」の単位認定

学会発表、学術誌発表により理学療法の臨床「C-6 症例発表」：3単位が取得できます。県士会ホームページ内『単位・修了認定書』→『新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請、認定要件』に従って申請してください。

（※平成23年度以前の発表の申請は平成25年3月31日をもって終了しました）

②協会・各都道府県士会以外主催の研修会について

協会ホームページ内のセミナー・講習情報閲覧画面（<https://www.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>）の詳細情報にて新人教育プログラム対応かを確認して受講してください。

（※平成23年度以前の受講証明書による新人教育プログラム認定は平成24年12月31日をもって終了しました）

③医療福祉eチャンネルの新人教育プログラム

現在、認定方法についての情報がありません。

◆お問い合わせ

生涯学習部データ管理係 田中健康（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
data2@pt-kanagawa.or.jp

平成25年度 新入オリエンテーション開催のお知らせ

開催日 平成25年6月1日（土）

会場 午後2:00～午後5:00（午後1時30分より受付を開始します）
横浜市西公会堂（横浜駅徒歩10分）
横浜市岡野1-6-41 ☎045-314-7733

内容 午後 2:00～2:10 公益社団法人 神奈川県理学療法士会会長挨拶
会 長 秋田 裕
2:10～3:10 講演会
テーマ：理学療法場面に於ける危険予知
講 師：麻生訪問看護リハビリテーションネットワーク
代表取締役 大森 豊先生
3:20～3:50 生涯学習新人教育プログラムについて
生涯学習部 部長 木村 充広
3:50～4:30 公益社団法人 神奈川県理学療法士会新入オリエンテーション
入会手続き事務等
4:30～5:00 片付け

申込方法 事前の申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい。

その他 入会手続きは、日本理学療法士協会ホームページで手続きが出来るようになりました。
新入オリエンテーションまでに、手続きを済ませることをお勧めします。

【問い合わせ先】

神奈川県理学療法士会事務局
TEL045-326-3225 /FAX045-326-3226
E-Mail : office@pt-kanagawa.or.jp

新人教育プログラム



平成25年度 第一回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会 学術局生涯学習部

この度は、平成25年度の第一回新人教育プログラム研修会を開催しますのでお知らせいたします。

開催日 平成25年**6月23日**（日）（受付開始**9:30**予定）

開催地 横須賀市文化会館大ホール

横須賀市深田台50（案内図参照）

京浜急行「横須賀中央駅」西口下車 徒歩10分

またはJR横須賀線「横須賀駅」下車 税務署経由衣笠方面行き京浜急行バス乗車10分 →「文化会館前」下車 徒歩3分

受講費 本会会員 1,000円（受講単位数に関わらず一律1,000円です）
他士会会員 4,000円（受講単位数に関わらず一律4,000円です）

内容 新人教育プログラム研修会

申込方法 申込みは、事前Web登録方式ですので**申込期間内に本会ホームページから事前Web登録**を行ってください。

日本理学療法士協会より通知された会員番号を用いて事前Web登録を行っていただきます。

なお、会員番号が未発行の場合でも事前Web登録が行えるようには登録システムを組んでいますので、事前Web登録を必ず行ってください。

申請テーマのキャンセル

事前登録で申請したテーマ以外への変更およびキャンセルはできかねますのでご承知おさください。

定員 700名（先着順）

※本年度、学術局生涯学習部では、新入会員以外の未修了者の受講も推し進めています。テーマAに対応する「必須初期研修」は年一回の開催となります。

今回、例年に比べ収容能力の高い会場を用意しておりますので、未受講の方の積極的な申し込みをお待ちしております。

申込開始日 平成25年5月27日（月） 12:00～

申込締切日 平成25年6月14日（金）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきますので、早めに登録されることをお勧めします。



【問い合わせ先】

横須賀共済病院 リハビリテーション科

生涯学習部 部長：**木村 充広**

E-mail : reha-ykh@ykh.gr.jp

予定時間	講座名	研修会テーマ	単位
10:00-11:00	必須初期研修	A-1 理学療法と倫理	1
11:10-12:10	必須初期研修	A-2 協会組織と生涯学習システム	1
昼食			
13:10-14:10	必須初期研修	A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む）	1
14:20-15:20	必須初期研修	A-4 人間関係及び接遇（労働衛生含む）	1
15:30-16:30	必須初期研修	A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）	1

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会 HP にて最新の情報をご確認ください。

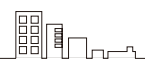
注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「**日本理学療法士協会会員証**」をご持参下さい。

注) 「会員証」未発行の場合でも受講は可能です。事前登録の際に、必要事項を記入し申し込み下さい。

注) 研修が終了したら、**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので、注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。（ロビーでの飲食は可能ですが、ホール内での飲食は厳禁となっています）

活動報告



日本理学療法士協会主催 『提案型管理者育成を目指したワークショップ』に参加して

神奈川県理学療法士会 介護保険部 前田 玲 (介護老人保健施設さつきの里あつぎ)

研修会名：『提案型管理者育成を目指したワークショップ』
 主催：公益社団法人 日本理学療法士協会 職能局
 日時：平成25年2月10日(日)～2月11日(月)
 場所：クロスウェーブ府中 定員：120名

◆研修目的-内容

STEP1：基礎的理解

日本理学療法士協会の描く理学療法士のグランドデザインの説明や医療・介護各領域の提案型管理者モデルの紹介を通じて、管理者として理解しておくべき基礎的知識を習得する。

STEP2：管理者資質

管理者として組織運営や人材育成にどのように携わるべきか、求められる管理者資質の具体的内容を習得する。

STEP3：管理者能力

他部門との折衝など管理者として役割を果たすために備えておくべき能力として、現場実態把握力やデータ分析、課題発見力などを習得する。

1日目

・理学療法(士)グランドデザインの説明

担当講師：植松 光俊氏(日本理学療法士協会 職能局長)

・医療・介護領域提案型管理者モデル紹介

「医療編」

担当講師：村永 信吾氏(亀田メディカルセンター リハビリテーション事業管理部長)

「介護編」

担当講師：岡持 利亘氏(医療法人 真正会)

・教育講演Ⅰ「管理者資質」

①組織運営管理

担当講師：小山 樹氏(株式会社ジェネラス)

②研修システム構築・実践・人事考課

担当講師：斉藤 秀之氏(筑波記念病院リハビリテーション部部長)

・教育講演Ⅱ「管理者能力」

～医療と介護保険領域における現場実践把握力

「医療編」

担当講師：大塚 功氏(相澤病院リハビリテーションセラピスト部門 院長補佐)

「介護編」

担当講師：安倍 浩之氏(有限会社ふらむはぁとりハビリねっと)

・BSC (balanced scorecard) の説明

担当講師：村永 信吾氏(亀田メディカルセンター リハビリテーション事業管理部長)

・ナイトセミナー「講師を囲んで討論会」

①提案型管理者とは

②これからの10年にすべきことは

1日目終了

2日目

ワークショップ(グループディスカッション)

①人材育成の課題と対策

②現場を実践把握するための方法と課題

<発表>

【研修終了】

◎研修を終えて…

研修の内容としては管理教育プログラムであったが、先進的な組織の先生方から『リハビリテーション専門職として』という視点での人材育成・管理方法を提示していただけたおかげで、これからの理学療法士の可能性を垣間見ると共に、全国的に同じような立場にいる理学療法士たちが同じようなことで悩み、日々考えながら臨床を送っている現状を伺い知ることができた。本研修の意図としては、まず①管理者同士のネットワーク作り、②次に協会として実態調査・把握するために日ごろから“生きたデータ”を集めておいて欲しいという狙いがあるようだった。管理者の育成をすることで多様化する職域に対する理学療法士の質の確保につながり、所属法人の発展に寄与し、地域住民のリハビリテーション活動の充実にもつながると考えている。との見解である。

今後、理学療法士は需要と供給のバランスの中で職域の拡大を進めていかなければならず、そういった意味でも所属法人の中で理学療法士活用の積極的な提案ができる管理者が増える必要がある。また、所属を飛び出して起業する理学療法士も年々増加している傾向にあるため、職能団体として「質の担保」を強化することは必然であり、国民の信用を勝ち取るために高い水準を保たなければならない。特に今年度より公益社団法人となった本会としては、県民の生活をより豊かにするために理学療法士の職域拡大、質の担保はよりいっそうの強化をしていかなければならない。自分の所属している介護保険領域でも、若い管理者はすでに多く存在し、今後ますます増えるであろうと予測される。H24年度から厚生労働省の打ち出している『地域包括ケアシステム』の中心的役割を担うのはリハビリテーション専門職であると確信しているが、我々理学療法士がそのリーダー的存在として他業種、他職種を引っ張っていくためには現場の管理者レベルでそのことを強く意識し、発展的な提案をしていく必要があると思う。

いくつかの県士会では既に管理者のネットワークを持っていて、県士会レベルで管理者研修も行っているという話もあり、本会としても早急に検討しなければならない案件だろうと感じた。

活動報告

第30回 神奈川県理学療法士学会 終了

去る3月3日、第30回神奈川県理学療法士学会は無事閉会いたしました。

ご来場の皆様、活発な意見交換や情報収集ができましたでしょうか？

皆様のPTとしての『キャリアデザイン』や『明日への自信と活力』につながるきっかけとなれば幸いです。

《参加者総人数 829名》

- 県内会員 667名
 - 県外会員 16名
 - 一般 146名 (一般65名, 医療従事者36名, 学生45名)
- 多数のご参加、誠にありがとうございました。

《東日本大震災復興支援特別企画 『はまっ子どうし』チャリティー販売》

事前購入 345本 当日販売 528本 総数873本
 寄付金額 873本×20円=17,460円
 学会打ち上げ参加者寄付金 13,385円
 総額30,845円を日本赤十字社を通じ、被災地へ寄付させていただきました。

～学会後記～

学会を終え、学会長、各担当準備委員からひとこと…

◎学会長：今吉晃（横浜市立脳血管医療センター）

30回記念学会として、パシフィコ横浜を用意して頂き、県民の皆様にも多数ご来場頂けるよう県民公開講座に宮森孝史先生を招聘し、「脳からみた心を語る」をテーマにご講演頂きました。特別企画「震災と理学療法士」はパネル展示で準備し、広報では、学会案内チラシを会員を通じて職場、ご家庭で配布して頂いたほか、関係団体へ郵送するなど広報に努めました。

当日は、早朝から多くの会員、県民の皆様にご参加いただけたことは主催者として感慨深いものがありました。また、各プログラムでは、熱心な聴講やプレゼン、討論が展開され、活気に包まれた会場は終日充実感が漂っていました。このような成果を挙げられましたのも、講師、座長、演者、会員の皆様のご理解、ご協力の賜物と準備委員・運営スタッフ一同感謝の気持ちで一杯です。紙上をお借りしてお礼申し上げます。

準備委員会は、理事会への学会総括報告と次期学会準備

委員へ引継ぎ事務を行い、3月31日をもちまして解散いたしました。一同、引き続き第31回学会の支援者として当日参加することまでを使命と考えています。来年も学会場でお会いしましょう。

◎総務担当：松葉 好子（横浜市立脳血管医療センター）

第30回神奈川県理学療法士学会は、会員ならびに関係者の皆様のご支援により、無事閉会致しました。ご協力、本当にありがとうございました。

ここで、今こそ明かす！とっておきの話として、パシフィコのプロフェッショナル魂をご紹介します。午前中のセミナーと県民公開講座は大盛況でしたが、終了時間は予定より着々と遅れていました。午後の会場の設営のためには1時間必要でしたので、会場の扉の前に立ってハラハラしながらパシフィコの担当者に「もうすぐ終了と思います。」と伝えるたびに、終始穏やかな笑顔で「大丈夫です。」ときっぱりと返事をしてくれました。結局、30分遅れの12時45分に終了となりましたが、ここからがすごかったです。空になった会場内では、次々とパーテーションが引かれ、掃除機が床を縦横に走りまわり、椅子を順次拭き清め整列し直し、なんと30分後の1時15分、総会の開始時間には会場設営と清掃まで終わっていました。この間、会場内は実に静寂で粛々と作業が続けられ、ドアが開いた瞬間には終了時間の遅れなど何事もなかったかのように始まったのでした。プロフェッショナルとはこういうものだと感嘆しました。

終了して1ヶ月たった今でも、演者の先生方の緊張して一生懸命で、でも生き生きとした顔や、すべての会場の学会スタッフのきびきびした立ち居振る舞い、声を思い出して、あゝいい学会だったなとひとりごちするとともに、無事に終わったことは奇跡だったともしみじみ思います。

準備委員や会場の運営と設営に関わっていただいたすべてのスタッフと仕事ができて、本当に幸せでした。演者もスタッフも、学会のテーマにあるように「明日への自信と活力」につながってほしい。そのサポートができたなら、この苦労をして学会を行ったことは私自身にとっても大きな意味のある「明日への自信と活力」だと深く感じます。ありがとうございました。

◎企画・講師調整担当：藤本 義道（佐藤病院）

初対面の方も多し中、戸惑いを隠せなかった学会準備委員会でしたが、学会という一つの大きな目標に向かって長時間



顔を突き合わせ、ともに積み上げていくことで良き連携、良きチームワークが構築されました。その甲斐あって学会当日は大きな混乱もなく、また一般参加も含めた827名もの方でご参加頂き大盛況となりました。

理学療法セミナーにおいては各分野5人の先生方に『楽しい刺激』と『たくさんのヒント』を頂きました。専門的な研修とは一味違ったとても有意義な時間でした。セラピストの数が急増する中、今回のテーマ『キャリアデザイン』に沿った的確な講演でした。また宮森先生のご講演には『脳・こころ』をテーマに144名もの一般参加者を迎えることができました。まさに『社会につなげる理学療法士のキャリアデザイン』を達成したように思われました。これも良きチームワークのもと準備を重ねてきた賜物であると感じており、本学会の成功を実感致しました。志の高い同志や諸先輩方に出会えたことは、生涯もつての宝となりました。

◎震災企画担当：竹下 昌広（横浜市立みなと赤十字病院）

前例のない企画で手探りのなか、今吉学会長の熱意に導かれ、なんとかやり遂げることができました。

被災地で懸命に活動された先生方のお話を聞かなかで、理学療法士の新たな可能性を模索するきっかけになりました。

◎会場・備品担当：上杉 上（横浜市立大学附属病院）

本学会では、パシフィコ横浜を使わせていただいたことと、県学会はじめての会員証による参加受付により、贅沢かつ未知の学会準備・運営となりました。大会場・受付方法変更を受け、学会当日に投入されたPCは計17台。県学会のIT化を強く感じました。



受付

◎渉外・託児担当：高木 裕子（済生会若草病院）

今学会の託児サービスは、お陰様で史上最多のご利用をいただきました。今回初の試みとして、学会会場外の既存託児所でお預かりできましたので、自信を持って、お勧めできました！係として、お預かりとお迎え時に立ち会わせていただきましたが、ねぎらいの言葉をいただけて、とてもうれしかったです。

託児



◎学術誌担当：松野 竜一郎（金沢病院）

学会誌担当に任命され、学術大会部の先生から「大変な仕事ですががんばってください！」と同情を伴った目で励まされたとき、「これは大変な仕事を引き受けちゃったかも・・・」と後悔しかけました。しかし、こうして形になったものを手にしてみると、「横浜」をイメージさせる最高の学会誌ができたのではないかと考えています。これも印刷業者さん、原稿を書いて頂いた先生方、何よりも共に遅くまで働いてくれた係の先生方のおかげです。学会に来られなかった人も読みどころがたくさんありますので、どうぞもう一度手にとってみてくださいね！

◎演題審査担当：井上 敦士

（横浜なみきリハビリテーション病院）

演題審査担当では、いくつもの山に直面し、なかなか谷が見えませんでした。3月3日ようやく最後の山を越え、無事に麓にたどり着くことができました。

計118演題の発表。とても素晴らしかったです。神奈川県士会の底力を見れた気がします。



～皆様のあたたかいご協力に感謝いたします。ありがとうございました～
第30回神奈川県理学療法士学会準備委員・運営スタッフ一同

活動報告

介護は突然やってくる！

会員ライフサポート部 大島奈緒美

会員ライフサポート部
活動報告 第39報
職場環境を考える

私が会員ライフサポート部に所属してもう7年以上経つだろうか…女性の出産育児などの問題から男性の育児まで。その就労支援のための調査・活動などを行い、そのほかセクハラなどに関する話題にも触れてきました。そして部内のテーマが介護へと移行したのはもう3年近く前でした。みんな「身近で考えられないからね…」と言っていた言葉を今でも思い出します。

私は高校生になる息子と私の母との3人暮らし。主人は2年前から海外へ単身赴任しています。主人の親は母親のみで（義母73歳）主人の弟（会社員・独身）と県内でふたり暮らしをしています。

昨年、息子の高校進学の際挨拶に入学式の帰りに実家に行きました。もともと車で1時間程度のところですが、これまでも年に数回くらいしか顔を合わせてはいませんでした。この日は息子と義母と3人で食事に行く約束でした。実家に着くと居間で横になる義母の姿があり、「昨日お風呂場で転んで尻もちを付いた」とのことでした。食事は中止となり帰りましたがさすがに気になり翌日から毎日電話を入れてみました。でもいつも電話の言葉は「大丈夫よ、動かなければ痛くないから」とのこと。その日から5日目、いつものように電話を入れるとさすがに義母も限界だったので、「実はあの日以来全く動くことができずあの居間で寝たきりだと。トイレにも行けず義弟に買って来てもらったおむつで用を足している状態。食事も食欲がなくほとんど食べていないと。」初めて現状を教えてくださいました。すぐに救急車を呼んで病院に行くように言い、私も職場から駆けつけました。救急車で運ばれた先は市内の急性期病院でした。私が行くと救急室の隣の部屋でストレッチャーに寝かされたままの義母の姿。レントゲンの結果が出るまで待っているとのことでした。医師の診断は第4腰椎圧迫骨折。コルセットの採型をしてから帰っていいとのことでした。さあ、困りました！義母は歩くどころか起きることもできません。このような状態では連れて帰っても生活できません。入院させて欲しいと頼みましたがきっぱり断られました。自宅は和式トイレだし、義弟は働いておりほぼ独居という状態です。もうこの際仕方ないと思い、自分の勤務先の病院のMSWに電話をしてみました。ベッドが空いているので受け入れられるとのことでした。とりあえず一安心！救急の医師に紹介状を書いてもらい、介護タクシーを自分で手配し、自分の勤務先の病院に移動させ入院させることになりました。

お願いしておいてこう言うのは身勝手だが…自分の職場の病院に身内を入院させるというのは実にバツが悪い！身内のボロをさらけ出すようだし、非常に気を使います。義母の場合は重度な糖尿病もあり入院当初から血糖値や血圧など様々な内科的問題も発覚。また原因不明の嘔吐や発熱を繰り返したこともあり、そんなときは「どうしてすぐに検査しないのか？」とか医師の治療そのものや看護師に対しても不満めいたことになりませんが言いたいことも言えず…まさにストレスの期間でした。当然リハビリも行ったわけで、担当決めも後輩たちがジャンケンして決めているような状況。そりゃ～上司の身内の担当なんて嫌でしょうね、わかります！

入院生活も3ヶ月を超え、明らかに異例の長さということとは分かっていました。当初は元の生活をとっていましたが、本人の意欲的な問題もあり、介護度は「要介護3」が出ました。今後の選択肢は①在宅②老健③有料ホームこの3つです。在宅は独居の時間が長いとかなり厳しく、本人の性格上デイサービスにも行かないでしょうから無理だと思いました。食事の支度や薬の内服のことを考えても不可能です。あとの選択肢は老健。こちらも義母の性格上、集団生活はかなり厳しいものがありましたからこれまた不可。残るは有料ホームと言われているところです。ここのいいところは個人の生活がある程度保証されている点でした。他人から強制されることが嫌いな性格ですし、他人との関わりも苦手な方なのでこそこしかないかなと思いました。早速、いくつかの有料のパンフレットを取り寄せ、施設見学です。調べてみると実に種類が様々あります。

一般的に有料老人ホームと呼ばれているものは介護保険上の正式名称では「特定施設入居者生活介護」にあたると思います。ほかにも似たようなもので「住宅型有料老人ホーム」「健康型有料老人ホーム」があり、使えるサービスが変わってきます。介護付き有料老人ホームの総称に代表される「特定施設入居者生活介護」では入居した施設において看護、介護サービスに対応してくれますが、デイサービスのような外部のサービスを使うことはできなくなります。福祉用具のレンタルも自費になります。一方、「住宅型有料老人ホーム」では介護などのサービスは全て外部から入れることになり、必要なサービスを利用者個人が契約をして使うようになります。老人の集合住宅といった印象です。制度的にはほかにも「軽費老人ホーム」「ケアハウス」「グループホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」などたくさんあ



ります。今回のことで結構勉強になりました。

更に悩まされるのが料金です。介護付き有料ホームでは、かかる料金や環境も様々。入所金というものはゼロのところから数千万円まで。高額なところは高級ホテルといった感覚で、施設内に温泉やエステ、トレーニングジムまで完備してありました。入所金の他に当然毎月の費用がかかります。こちらは介護度によって多少違いますが一般的には年金で払えるくらいに設定はしてあります。食費、おむつ代は別会計です。医療行為が必要になった時の体制も施設によって違い、吸引、透析送迎、胃瘻などに対応できる場所もあればできないところもあります。とまあ実に多様化しており一様に比較できないのが現状でした。義母の貯金を含めた経済状態と家族全部の経済力とを考え、正直あと何年生きれるかなんて考えも加えて、施設を決定しました。義母にとってはここが終のすみかとなるところです。いいところを選んであげたいと探しました。

私の場合は頻回に顔が出せるようにと私の家に近い場所の施設に決めました。その施設ではかかりつけ医が決まっています。契約すれば訪問診療で医療が受けられます。また眼科などは施設の看護師が同行して受診に連れて行ってくれます。働いている私にとってとても魅力のサービスでした。私の場合も主治医となる医師を施設の訪問診療医とさせてもらい、私が受診の時に同行し今後の治療方針や緊

急時の対応などの話をしてきました。ですから施設入所以後は電話での受診状況の報告だけとなりました。特別な治療が必要な場合は当然無理ですが、日常のかかりつけ医が訪問してくれるのは非常に助かります。ほかにも食事療法が必要な義母だったので、施設のカロリー計算された美味しい食事に本人も満足しています。日当たりのいい部屋で大好きなテレビを見て毎日のんびり生活しています。今は入所してから半年が過ぎましたが、弟とも予定を合わせ月に1回程度は実家に外泊させています。また私の仕事の休みなどは近くのスーパーなどで一緒に買い物など楽しんでいます。

「介護は突然やってくる！」まさに実感した感想です。私の場合は今回義母は施設入所という選択でした。現在、私は実母（80歳）と同居しています。こちらの介護もいつ始まるかわかりません。自宅での介護となったらはたして仕事は続けられるのでしょうか？また家族として預金や生命保険の内容など事前にある程度知っておくことも必要だと実感しました。

若い人達が多い職業ですが、介護は親だけではありません。いつ身近で始まるかわかりません。会員ライフサポート部としてさらに情報を発信していく必要性を痛感しました。



●●●会員ライフサポート部部員募集●●●

一緒に活動して下さる方大募集。年数回、神奈川県理学療法士会事務所で集まって活動しています。また、会議には参加できないけれど、ご意見、ご要望がある、メールを通して活動に参加したいという方（メールサポートメンバー）も随時募集しています。

連絡先：lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（会員ライフサポート部 寺尾）

活動報告



PT・OT福祉用具スキルアップ研修会基礎コースを受講して

障害者支援施設シャローム浦上台 柳 泉

2012年12月1日、16日の2日間、ウィリング横浜で開催された、「PT・OT福祉用具スキルアップ研修会基礎コース」を受講させて頂きました。

とても有意義な研修会でしたので、少し内容を紹介させていただきたいと思います。

12月1日は、褥瘡について、臥位のポジショニング、起居動作、移乗動作の講義と実技が行われました。実技は6人のグループに分かれ各グループにベッドが2台割り当てられています。クッション、リフター、スライディングボード、介助用ベルト、エアマットレス等を少人数で実際に体験できるため、今まで使ったことのない機器も十分体験することが出来ました。

12月16日は、シーティング、車椅子での移動、車椅子での活動など、車椅子について1日かけて学ぶことが出来ました。車椅子の実技は4人のグループに分かれて行われ、各グループに1社ずつ、メーカーやレンタル業者の担当者が付き、

主にモジュラータイプの車椅子の細かい説明と調整方法を教えて頂きました。僅かな調整で姿勢が変わり、ヘッドコントロールが変化することを体験し、車椅子に対する考え方が深まりました。また研修の中には、ABSや実際の症例についての講義、姿勢の変化の体験なども含まれており、臨床でのアプローチを改めて考えさせられる内容でした。

今回の講習会は2日間を通して、受講者が20数名ということもあり、体験し感じる機会がとても多く、実際に職場に戻ってから使うことの出来る知識・技術も多く盛り込まれていました。

さらに、この研修会には上級コースもあるとのこと、より深く福祉用具を理解できるのではないかと期待しています。

最後になりましたが、お忙しい中、講師をして頂いた先生方、運営に携わって頂いた先生方、機器を貸し出して頂いた業者の方々に感謝いたします。



月	日	内容	場所
2月	5日(火)	公益社団法人移行事務打合せ、会務決済	事務所
	8日(金)	会務決済	事務所
	9日(土)	第9回かながわ地域リハフォーラム	かながわ労働プラザ
	15日(金)	会務決済、山口和之氏選挙対策打合せ	事務所
	16日(土)	関東甲信越ブロック士会会長会議、同懇親会	事務所、横浜スカイビル
	22日(金)	会務決済	事務所
	24日(日)	転倒予防教室開講あいさつ	鶴巻温泉病院
	26日(火)	県作業療法士会会長・県社会福祉士会会長との意見交換	横浜
	27日(水)	会務決済	事務所
3月	3日(日)	第30回県士会学会、総会	パシフィコ横浜
	6日(水)	会務処理	事務所
	11日(月)	県医療専門職連合理事会	放射線技師会事務所
	12日(火)	第6回常任理事会、会務決済	事務所
	17日(日)	山梨県理学療法士会一般社団法人移行記念事業	甲府常磐ホテル
	19日(火)	第12回理事会、会務決済	事務所
	21日(木)	第49回学会準備委員会	事務所
	25日(月)	横浜市障害区分認定審査会	横浜市技能文化会館
	26日(火)	会務決済、事務所懇親会	横浜



Daiwa House
大和ハウスクープ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

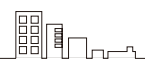
ロボットスーツ HAL®福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室





第49回日本理学療法学術大会だより (No.3)

学会準備委員会広報局長 小山 理恵子 (聖テレジア病院)

前号までは長澤大会長、秋田副大会長が第49回日本理学療法学術大会への想いを語ってくださいました。準備委員会には諸々の役割分担があります。今後は準備委員会の各局の活動をご紹介しますと共に、進捗状況などをお伝えいたします。

今回は広報局をご紹介します。広報局は広報局長・副広報局長・ホームページ作成管理担当・カメラ撮影担当の4名で活動しています。

突然ですが皆様に質問です。

(初級編) Q1. 第49回日本理学療法学術大会は「いつ」「どこで」「どんなテーマで」開催されるかご存知でしょうか？

→答え：H26年5月30日～6月1日、パシフィコ横浜にて。

テーマ「あなたの生活を支えます～理学療法士10万人からの提言～」

(中級編) Q2. 第49回日本理学療法学術大会のイメージカラーは何色でしょう？

(上級編) Q3. 新ポスターには実在する理学療法士の手が写されています。この手は誰の手でしょう？(わかる方はかなりマニアックです)

我々広報局は、Q1のように第49回日本理学療法学術大会が「いつ」「どこで」「どんなテーマで」開催されるかを日本全国の理学療法士や学会関係者の方々に広報するのが主な仕事です。Q1に答えられなかった方がいらっちゃったとしたら我々の力不足です。とはいえ、我々は大会2年前から広報活動を始めていました。具体的にはポケットティッシュとチラシを作成し、昨年は第47回日本理学療法学術大会(兵庫)や第31回関東甲信越ブロック理学療法士学会(埼玉)、第47

回全国学術研修大会(鹿児島)などでポスター掲示とともにティッシュ配りをしました。今年3月にみなとみらいで行われた第30回神奈川県理学療法士学会でティッシュを手にとった会員もいらっしやると思います。理学療法士になってティッシュを配るとは思ってもいりませんでした。これまでに2000個のポケットティッシュを配布しました。

さて、3月にはようやくロゴマークが完成しました。ロゴマークは開催地みなとみらいを表現しています。色は神奈川を表すブルーです(Q2の答え)。現在、5月の第48回日本理学療法学術大会(愛知)での広報に向け、新デザインのポスター作成やPRグッズの準備、広報用の幟やスタッフ用ウィンドブレーカーのデザイン、ホームページ作成などに着手しています。

これまで使用してきたポスターはみなとみらいの夜景を表したデザインでしたが、間もなくお目見えする新ポスターは国民の生活を支える「理学療法士の手」として長澤大会長の手(Q3の答え)と我々理学療法士が支えるべき各要素(ADL・ROM・筋力etc.)を玉で表現しています。また、今後学会会場等で配布するグッズはきっと皆様の日常生活に役立つものと確信しております。会場で配布しておりましたら、是非笑顔で受け取ってください。

また、広報は何よりも口コミが力を発揮します。皆様の職場、県外のお知り合いの方々に第49回日本理学療法学術大会についてお伝えいただければ幸いです。神奈川県理学療法士会の一員として是非ご協力をお願い申し上げます。

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>



— 第31回神奈川県理学療法士学会新聞 vol.1 —



県学会新聞

第三十一回学会の 会期と会場が決定！

先日の3月3日、第30回神奈川県理学療法士学会がパシフィコ横浜にて開催され、まさに県学会30年の集大成となる盛り上がりを見せた。閉会式では第31回学会の会長である宮本真明(33)が挨拶を行った。「(前略)31回学会では従来の学会の良い点を継承しつつも、ハード・ソフトの双方の観点から新しい学会システムを構築したいと考えております。今回の記念大会のテーマがキャリアデザインでしたが、記録的な参加者数をみても会員の関心の高さが伺えました。今後はさらに県学会を個々の会員が思い描いたキャリアを実現しや

すい学会に進化させていく必要がありませう。そのような意味で、今回我々が目指すものは、次の30年を視野に入れた新しい神奈川県学会の創造です。(中略)微力ではありますが、我々準備委員一同、第31回神奈川県理学療法士学会の成功および理学療法法の更なる発展を目指し、一生懸命頑張りたいと思っております。ご指導ご支援のほどよろしくお願い致します。」

演題募集期間と募集方法が決定

準備委員会は3月、一般演題の査読・学会誌の発行に要する時間から逆算し、31回学会の演題募集期間を決定した。また前年度の演題登録システムを踏襲し、演題名と抄録を同時登録とすることも決定した。演題名で研究内容を明確に表現するためには、抄録完了後にタイトルを再考することが望ましい

いとの観点からである。

学会発表ナビゲーションシステムが公開開始

キャリア実現の一助として、学会発表ナビゲーションシステムを導入することになった。「発表したいけど何から準備すればいいの?」など初学者が陥りやすい疑問について、委員が総力を挙げてサポートする体制を調整中。あなたの研究、「いいところ」を一言に、演題募集期間に合わせて3ステップで順次公開予定。Facebook上で公開中。詳細は右記QRコードより学会HPへ今すぐアクセス。



準備委員



- 宮本真明 (12)、河端将司 (8)
- 工藤大志 (8)、宮田徹 (4)
- 芦原光明 (4)、亀井友博 (4)
- 雨宮耕平 (4)、荒井洋太 (5)
- () 内は経年数

演題募集期間 この機会に是非!

平成25年8月1日~9月30日

新プロ症例発表、もしくは生涯学習15ポイントを取得しよう
(参加+発表)

●県士会主催

研修会・講習会



平成25年度 リーダー研修会のお知らせ 神奈川県理学療法士会学術講習部

テーマ：明日から使える行動リハビリテーション：理論から実践まで

内容：「行動リハビリテーション」は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などの「リハビリテーション」と心理学から創設された「応用行動分析」とを統合した新たな臨床、研究領域です。特に最近では、認知症者への支援において、多くの実践を進めています。

本研修では、1時間30分の講義・ワークショップを、1日で3回実施します。明日からでも実践現場で活用できる「行動リハビリテーション」の支援理論、支援技術についての具体的な内容から、支援技術を小児、成人、高齢者、認知症などに適用した実践成果を事例検討という形でお話し頂き、臨床で現れる様々な「行動問題」について、その解決方法をワークショップ形式で検討していきます。最後に実践事例の「報告」を「研究」まで高めていくための「1事例の研究計画法」を紹介して頂きます。このような講座を通じて、明日から患者様たちの動機付けを高め、意欲的に取り組んでいただけるリハビリテーション方法を修得します。

日時：平成25年8月18日(日)
10:00～15:30(受付開始9:30～)

会場：未定(神奈川県理学療法士会ホームページおよび県士会ニュース7月号に掲載しますのでご確認ください)

講師：山本淳一先生(慶應義塾大学・心理学研究室)

受講料：無料

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ウェブサイトの[講習会・研修会情報]から登録してください。

申込受付期間：平成25年6月18日(火)～8月9日(金)

定員：100名(定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：神奈川県内の理学療法士

単位認定：履修ポイントは現在詳細を検討中なので、判明次第、県士会ホームページにアップしていきますので最新情報をホームページで確認して下さい。

お問合せ先：神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻 末政友佳子

E-Mail: suemasa-dsi@kuhs.ac.jp

平成25年度「PT・OT福祉用具スキルアップ研修・基礎編 募集のご案内

テーマ：～地域での福祉用具等適合相談のために～

内容：車いすや福祉用具の使用方法および調整方法はPT、OTにとって極めて重要な技術であることは周知のところですが、また、住環境整備に関する知識、利用可能な各種制度に関する知識も必要です。(社)神奈川県理学療法士会と作業療法士会は共同で研修会を開催しています。本研修では、福祉用具と身体機能の基礎を学んだ上で実技を行い、すぐに臨床で活かせるプログラム設定をしています。

日時：平成25年8月4日(日)
9:30～16:00

臥位のポジショニング・起居動作・移乗動作

平成25年9月1日(日)
9:45～16:30

座位(シーティング)・車いすでの移動・車いすでの活動

会場：ウィリング横浜 10F 介護実習室1
横浜市営地下鉄・京急上大岡駅徒歩1分

受講料：7,000円 初日に徴収します

定員：40名(PT20名 OT20名) 先着順

対象：公益社団法人神奈川県理学療法士会会員

一般社団法人神奈川県作業療法士会会員

*全日程受講可能な方

申込方法：神奈川県理学療法士会 HP にて以下の事項を記載の上お申込みください。

①件名(PT・OTスキルアップ研修) ②氏名 ③経年数 ④勤務先施設名 ⑤連絡先メールアドレス ⑥公益社団

法人日本理学療法士協会会員番号⑦生年月日

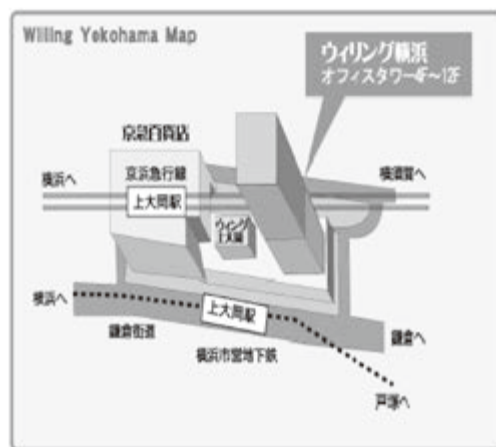
※個人情報について：受講者の選定及びその後の連絡・調整を行うために個人情報を利用します。また研修の効果的な実施を資するため、研修講師に参加者名簿の提示を行います。

主催：公益社団法人神奈川県理学療法士会・一般社団法人神奈川県作業療法士会

お問合せ先：川崎市れいんぼう川崎 長澤充城子

TEL 044-888-8601

E-Mail: rainbow-reha@ams.odn.ne.jp



平成25年度 内部障害領域講習会のお知らせ 神奈川県理学療法士会学術講習部

テーマ：摂食・嚥下障害に対する理学療法士の関わり方
～呼吸機能に関連した身体機能の評価と対応～

内容：病院から施設や在宅へと職域が広がるにつれて、摂食・嚥下障害に関わる理学療法士は増えています。今回は、嚥下機能と深く関係している呼吸機能を中心に身体機能評価と対応について、実技を交えて行いたいと思います。

日時：平成25年7月28日(日)
10:00～13:00(受付開始9:30～)

会場：神奈川リハビリテーション病院
七沢リハビリテーション病院脳血管センター
理学療法士 小泉千秋

受講料：会員2,000円 他士会員5,000円

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ウェブサイトの[講習会・研修会情報]から登録してください。

申込受付期間：平成25年5月16日(木)～平成25年7月16日(火)

定員：50名(定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：県士会員、協会員

単位認定：履修ポイントについては現在詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：神奈川リハビリテーション病院
理学療法科 堀田夏子
E-Mail: kanapt@kanagawa-rehab.or.jp
お問合せは件名を『学術講習部講習会の件』とし、メールにてお願いします。

発達障害支援者意見交換会の開催と参加者募集のお知らせ

神奈川県理学療法士会発達障害支援部では、小児領域に関わる方々を対象に意見交換会を開催致します。開催に当たり、様々な方々からご意見を伺うために、参加者を募集致します。意見交換の機会を設けて、地域で暮らす障がいがあるお子様達(年齢問わず)の支援に関わる理学療法士の現状と課題を把握・整理し、発達障害支援部の来年度以降の事業に反映させたいと考えております。

詳細はホームページをご覧ください。募集予定人員は若干名です(ご応募多数の場合は発達障害支援部にて選考させていただきます)。皆様のご応募をお待ち申し上げます。

●他団体

研修会・講習会

ビジネスクリエーター研究学会

日時：平成25年5月19日(日)
10:00～15:00 終了予定(受付開始9:30)

会場：立教大学池袋キャンパス 11号館 A201 教室

研修の目的：当研究会は、医療機関のリハビリテーション部門の管理者およびリーダー業務を実践している方々や、将来的に担うことを期待されている方々と、様々な視点から議論を行い、医療専門職としての組織運営の方法を探っていくことを目指して設立したものです。

第1回のkickoff meetingでは、人的資源管理論を専門とされる先生をはじめ、現在臨床現場にてリーダーとして活躍されている看護部長やリハビリテーション部門リーダーのお話しをお聞きされたうえで、実際に我々が直面している問題を浮き彫りにするためのブレインストーミングを行う予定です。

内容・講師：◆経営全般の話 谷内篤博先生(実践女子大学教授)
◆看護部門における組織運営についてのお話し 増淵美恵子先生(日本医科大千葉北総病院看護部長)
◆リハ部門に組織運営についてのお話し 小宮桂治先生(甲府城南病院リハビリテーション部 副部長)
◆ブレインストーミング
テーマ:現場の組織運営での問題点の整理

参加費：資料代として1,000円

申込方法：参加ご希望の方は、ビジネスクリエーター研究学会事務局(cbcpr@grp.rikkyo.ne.jp)に①ご氏名、②所属、③経歴年数を記載の上、メールの件名を「コメディカル組織運営研究会申し込み」としてお申込みください。

主催団体名：コメディカル組織運営研究会

基礎バイオメカニクスセミナー 2013 (初級・中級)

日時：初級編:平成25年7月5日(金)、6日(土)、7日(日)
中級編:平成25年8月23日(金)、24日(土)、25日(日)
(時間は各々、初日13:00～17:00、2日目9:00～17:00、3日目9:00～16:00)

会場：新潟医療福祉大学東京キャンパス
(東京駅サピアタワー 10F)

内容：バイオメカニクスのデータ解析ではなく、基本動作を力学的に理解することを目的とし、実際の動作を3次元動作分析装置で計測した動画を使用します。

受講料：初級編、中級編各々30,000円、両方受講する場合55,000円

講師：江原義弘(新潟医療福祉大学)
山本澄子(国際医療福祉大学)
勝平純司(国際医療福祉大学)

主催団体名：新潟医療福祉大学 <http://www.nuhw.ac.jp/>

定員：初級編、中級編各々30名

お問合せ：新潟医療福祉大学 事務局総務課 大竹 宏

information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

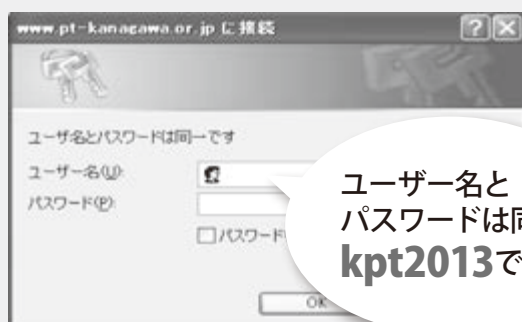
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

総 会 告 示

公益社団法人神奈川県理学療法士会 第1回定時総会

日時：平成25年**6月30日**(日) 10時30分

場所：神奈川県社会福祉会館 2階講堂
横浜市神奈川区沢渡4-2

※ 本総会よりこれまでの代理人による議決権行使に加え、書面による議決権行使が可能となります。
総会資料に委任状及び議決権行使書面を同封しますので、提出して下さい。



平成25年度 学術サークル助成 公募のお知らせ

本会では、会員の幅広い学術活動の活性化及び理学療法技術向上を目的に、下記要領で学術サークルを公募し助成を行います。たくさんの応募をお待ちしています。

本年度より、サークルの学術活動に対し助成を行っていきます。学術サークル助成の公募要項が変更になっていますので、ご注意ください。

学術サークル助成の公募要項

1. 目的

本会会員の学術活動の活性化及び理学療法技術向上のために助成する

2. 学術サークルの目的

理学療法に関係する学術活動を目的とする

3. 学術サークルの構成員

*構成員とは、サークル活動を常時行っている者をいう

- 1) サークルの代表は本会会員であること
- 2) サークルの構成員は1 / 2以上が本会会員であり、5名以上、2施設以上の本会会員が含まれていること。(施設に所属していない会員は1施設と見なす)

4. 学術サークルの責務

- 1) 活動は定期的に行うこと
- 2) 後進育成のため症例検討会等を開催し、学術大会等の発表に向けた支援を行うこと
- 3) 本会学術局の要請により、県学会等で活動報告を行うこと
- 4) 年度末(指定日)までに学術局宛てに活動報告と会計報告を行うこと

5. 助成金の使途

学術活動に対する費用に充てる(講師謝金、会場費、資料代等)

6. 応募要項

サークルの主な活動目的、活動予定、構成員の職種割合、構成員の氏名、所属施設名を所定の「学術サークル助成申請書(士会HPよりダウンロード)」に記入し、本会学術局へ提出する。

7. 応募先

(公社)神奈川県理学療法士会 学術局長 佐藤 史子 宛
住所：〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20、101号
TEL：045-326-3225

8. 助成金の額

- 1) 1サークルに対し上限を30,000円とする。
- 2) 助成金の交付は、指定日までに活動・会計報告がなされた後に行う。

9. 応募締め切り

毎年5月31日

10. 助成サークルの決定と通知

理事会で承認され助成事業の対象と決定したサークルには別途通知する。

問合先：佐藤 史子

((公社)神奈川県理学療法士会 学術局長)

E-Mail：sato.f@pt-kanagawa.or.jp

今年もやります！「理学療法フェスタ2013」

一般の方々への理学療法PRのためのイベント、理学療法フェスタ2013を今年も開催します。横浜そごう前の新都市プラザを会場に、ファンクショナルリーチテストを体験していただくバランス能力測定コーナーや理学療法相談コーナーの設置を予定しています。ご家族、友人の方々をお誘いあわせの上、お越しください。

日 時：6月16日(日) 11:30～15:00

場 所：新都市プラザ

<http://www.shimin-floor.jp/eventspace.html#eventspace03>

内 容：バランス能力測定コーナー、理学療法相談コーナー、パネル展示等

※あわせて、スタッフの募集も行っております。ご協力していただける方は公益事業推進部相馬までメールでお問合せ下さい(12pt-festa@pt-kanagawa.or.jp)



理事会報告



社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第10回理事会

I. 日 時：2013年1月15日（火） 19：00～21：00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、山口 泰成、大槻かおる、佐藤史子、福島 努、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、小生理恵子

出席監事：井上 保

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会長 今吉 晃
第31回神奈川県理学療法士学会長 宮本真明

出席事務職員：小林和美

IV. 議長団選任

議長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事より下記のように互選にて選出された。

副議長：隆島研吾

議事録署名人：炭 孝昭、林 克郎

V. 配布資料

- ・2012年度第10回理事会議事案
- ・2012年度第8回、9回理事会議事録
- ・次年度事業計画、予算案
- ・第33回通常総会資料
- ・理事会資料
- ・平成24年度（第77回）関東甲信越ブロック士会長会議開催について
- ・神奈川県リハビリテーション協議会設置要綱（資料1～9）
- ・神奈川県地域リハビリテーション連携指針（参考資料）
- ・第30回神奈川県理学療法士会 学会日程・各種会議スケジュール

VI. 回覧資料

・なし

VII. 議事内容

- (1) 会長挨拶・会長行動報告
- (2) 2012年度第8回、9回理事会議事録（承認）
 - ・2012年度第8回、9回理事会議事録が一部修正後、承認された。
- (3) 次年度事業計画・予算案の承認（承認）
 - ・次年度事業計画・予算案は、一部事業の内容修正があり確認後、総会で提案する事が承認された。
- (4) 各局・部・委員会報告（承認）

1.事務局

①会員異動報告・入会者承認の件（報告・承認）

・前回理事会からの入会予定者2名が承認され、転入4名、転出4名、復会1名、休会1名、退会2名、県内異動26名、2013年1月15日現在での会員数は3,694名であることが報告された。

②各種団体よりの依頼事項の件（承認）

・(株)モノ・ウェルビーイングより賛助C会員入会希望があつ

たが、入会の経緯に関する情報が不明確であったため、次回の理事会で承認することとなった。また、その旨を入会希望業者へ連絡することとなった。

- ・神奈川県保険医協会より「医師及びメディカルスタッフのための第29回糖尿病セミナーで後援及びチラシの普及のお願い」の依頼があり承認された。
 - ・神奈川県総合リハビリテーション事業団地域支援センターより「第9回かながわ地域リハビリテーションフォーラム」の開催についての共催依頼があり承認された。
 - ・神奈川県リハビリテーション支援センターより「第9回かながわ地域リハビリテーションフォーラム」の開催に伴う展示コーナーへの参加についての依頼があり承認された。
 - ・かながわ福祉サービス振興会より「第6回神奈川県特定施設研究大会」の後援依頼があり承認された。
 - ・神奈川県建築士会より「第2回専門職連携研修会」の後援依頼があり承認された。研修会への講師は相川理事、ファシリテーターは介護保険部から1名推薦することとなり、詳細については次回理事会で報告することとなった。
 - ・川崎市長より「川崎市介護認定審査会委員の推薦について」依頼があり、本会より15名を推薦することが承認された。
 - ・相模原市長より「介護認定審査会委員の推薦について」の依頼があり、本会より2名を推薦することが承認された。
 - ・厚木市長より「厚木市介護認定審査委員会の推薦について」の依頼があり、本会より6名を推薦することが承認された。
 - ・厚木市長より「厚木市障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員会の推薦について」個人宛から今年度より本会を通し依頼があり、本会より1名を推薦することが承認された。
 - ・小田原市長より「小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町 障害程度区分認定審査会委員の推薦について」依頼があり、本会より1名を推薦することが承認された。
 - ・相模原市長より「障害者総合支援法にかかる相模原市障害程度区分判定等審査会委員の推薦について」依頼があり、本会より1名を推薦することが承認された。
 - ・横浜市立茅ヶ崎中学校より「職業講話のお願い」会員推薦の依頼があり、鈴木 謙介氏（横浜総合病院）を推薦することが承認された。
 - ・日本理学療法士協会より「提案型管理者育成を目指したワークショップ」参加者推薦の依頼があり、手塚純一氏（幸病院）、前田 玲氏（介護老人保健施設さつきのみあつぎ）を本会から推薦することが承認された。
- ③各部事業報告（報告・承認）
- ・「公益社団法人神奈川県理学療法士会」ロゴマークの

理事会報告

募集（案）をニュースとHPに掲載予定であることが報告された。また、募集案に修正等があれば連絡することとなった。

- ・公益社団法人に移行するにあたり、対応会計用ソフト等を今年度の予算より購入することが提案され承認された。

a) 総務部

- ・第33回通常総会は、13：15～開催となることが報告された。
- ・25年度の新人オリエンテーションは、6月1日（土）横浜西公会堂で、午後から開催されることが報告された。

b) ウェブサイト管理部

- ・HPのトップデザインについて、業者よりデザイン4種が提示されたことが報告された。
 - イメージカラーは神奈川ブルーとすることが、承認された。
 - キャッチコピーについては、本会の顔となるので期限を区切り意見を募集することとなった。
- ・その他トップデザインへの要望が挙げられた。
 - 賛助会員の募集など賛助会員のリンクをわかりやすく。フォントが小さい。
 - イベントカレンダー機能で本会のイベントや理事会、部会が見やすく、操作しやすいシステム。
 - 会員がいる施設一覧を県民の皆さんに見やすく、探しやすいシステム。
 - HPに対するご意見を募るページ等。

c) ニュース編集部

- ・ニュース発行業者について見積を取っていることが報告された。

2.学術局

a) 臨床実習教育部

- ・臨床実習指導方法研修会が1月27日（日）に開催される予定であると報告された。

b) 学術大会部

- ・第30回学会の進捗状況について以下の報告があった。
 - 登録演題数が、口述43 ポスター 76に確定した。
 - 口述・ポスターの座長が決定した。
 - 県民にも広く広報するために学会ポスター・チラシを会員施設と関連団体へ送付する。
 - プログラム・抄録集の校正作業を1月上旬に完了し2月5日から「技術と研究」と共に送付する予定である。
 - 学会当日に理事会・局部会を開催する場合は、次回理事会までに役員メールにて今吉学会長まで連絡をする様に依頼があった。
 - 今吉学会長より理学療法相談会の担当の要請が

各理事へ依頼された。

- ・第31回学会長の宮本真明氏（湘野辺総合病院）が紹介された。

c) その他

- ・第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会演題査読候補者推薦の10名が推薦され承認された。
- ・平成25年度理学療法士講習会の申請があり、以下の5講座が承認された。

「理学療法士による移動・移乗の介助」

「下肢切断の理学療法」

「脊髄損傷に対する理学療法の実践」

「理学療法におけるリスク管理」

「動機づけを高める運動療法の進め方」

- ・第31回神奈川県病院学会が10月22日に神奈川県総合医療会館で行われたことが報告された。本会から6名が参加したこと、学会参加証が発行されたことが追加報告された。

- ・11月10日に東京都理学療法士会事務局で行われた第2回関東甲信越ブロック学会運営検討委員会の議事録が提出された。

3.社会局

a) 会員ライフサポート部

- ・ニュースなどが送付されない休会者に対し、復職に関しての問題点等を把握するために実態調査のアンケートを7月1日～末日まで行った。調査結果は第48回日本理学療法学会大会へ抄録登録済みであることが報告された。また、本会ニュース、ホームページへの掲載は現在、準備中であることが報告された。

b) スポーツ支援・健康増進部

- ・11月17・18日「城下町おだわらツデーマーチ」に対する支援が行われたことが報告された。

c) 環境支援部

- ・8月5・26日PT・OT福祉用具スキルアップ研修会 上級編が行われたことが報告された。
- ・来年度は、定員20名（PT10名・OT10名）に変更する旨が報告された。

d) 介護保険部

- ・訪問リハビリテーションステーション（仮）制度化対策会議について、第9回理事会での補足の説明が報告された。
 - 会議構成メンバーは訪問リハに従事する会員5名
 - 会議回数は年3回とし、継続して報告していくことが報告された。
 - 神奈川県訪問リハビリテーション振興委員会（仮）準備委員会発足について承認された。
 - 3士会長での申し合わせを行い、連名のひな型を



作成すると報告された。

- 井上監事より領収書名などをどうするのかなど、確認をする必要があると指摘があった。

- ・日本訪問リハビリテーション協会より、12月1・2日に開催された「日本訪問リハビリテーション協会地域研修会（基礎コース）in神奈川」について協会ニュース、機関誌への執筆依頼があり、相川理事が担当することが承認された。

e) 公益事業推進部

- ・秋のセミナー「転倒予防」が、11月18日に行われ、福島理事が講師で参加者27名だったことが報告された。
- ・神奈川県リハビリテーション事業団地域支援センターより、「かながわ地域リハフォーラム」への共催・ブース出展の依頼があり承認された。ブースには、来場者へ本会と協会のリーフレットの配布と県学会の案内を置くことが報告された。

- ・かながわ健康財団より「すこやかかながわ一万人健康ウォーク」代替事業の「(仮) 神奈川健康フェア」への参加の調査があり、本会は参加を希望し①負担金可+当日参加と回答したと報告された。

その他

- ・横浜市立茅ヶ崎中学校より職業講話講師推薦依頼があり、鈴木謙介氏（横浜総合病院）を推薦することが承認された。
- ・厚木市より経過検診事業従事理学療法士推薦依頼で承認済みの堀 千登勢氏（鶴巻訪問看護ステーションいせはら）の入会手続きが完了したため、厚木市に文書で回答する旨が報告された。

4.その他の委員会

- ・秋田会長より、2月16日開催される 関東甲信越ブロック土会長会議後の懇親会について案内があり、詳しくはメールで連絡する旨が報告された。

以上



「がん」をはじめとする生活習慣病や交通事故によるケガなど心配は尽きませんが、万一のための備えがあれば安心です。

**ご自身はもちろん、ご家族の支えのためにも
一生涯の医療保障をご準備ください。**

(デイズには一部更新型の保障があります)



**生きるための
がん保険** デイズ

もっと頼れる医療保険
新EVER
エヴァー

健康に不安がある人も入りやすい医療保険
もっとやさしいEVER
エヴァー

※詳細につきましては、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

■募集代理店

国際保険株式会社

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

TEL : 0120-5931-98
FAX : 0120-5544-23

■引受保険会社

Affac アフラック 首都圏総合支社
(アメリカンアフラック生命保険会社)

〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7新宿ファースト17F
TEL : 03-3344-1580 FAX : 03-3344-2028

AF271-2013-0054 3月19日(150319)

あなたのニーズを

‘かたち’ にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

(有)木村義肢工作研究所
〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

理事会報告

社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第11回理事会

I. 日 時：2013年2月19日（火） 19：00～21：30

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15

出席理事：隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、大槻かおる、
佐藤史子、坪内敬典、惣田 洋、相川浩一、久
保雅昭、露木昭彰、小山理恵子、内田賢一

欠席理事：秋田 裕、山口泰成、福島 努

出席監事：井上 保、安藤徳彦

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会長 今吉 晃
（公社）日本理学療法士協会理事 山本尚司

出席事務職員：小野田誠子

IV. 議長団選任

議長、副議長、議事録署名人は出席理事より下記のように
互選にて選出された。

議 長：炭 孝昭

副 議 長：隆島研吾

議事録署名人：大槻かおる、佐藤史子

V. 配布資料

- ・2012年度第11回理事会議事案
- ・2012年度第10回理事会議事録
- ・会長あいさつに代えて
- ・理事会資料
- ・理事会資料（差替え）
- ・学術局理事会資料
- ・社会局理事会資料
- ・学術局理事会資料
- ・2013（平成25）年度会議等日程（案06）
- ・神奈川県リハビリテーション協議会審査結果
- ・公印管理規程
- ・第30回神奈川県理学療法士会における総会・各種会議予
定と会場について

VI. 回覧資料

- ・委任状提出依頼ホームページ用、FAX通信用原稿
- ・「第3回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会神奈川大
会」後援名義使用許可のお願い

VII. 議事内容

- (1) 2012年度第10回理事会議事録承認（承認）
 - ・2012年度第10回理事会議事録が一部修正のもと承認
された。
- (2) 来年度会議等日程について（討議）
 - ・2013年度会議等日程について討議され次の通りの日
程が決定された。
総会：6月30日（日）
同日に公益社団法人移行記念式典、祝賀会も開催
理事会：第1回5月21日（火）、第2回6月30日（日）、
第3回9月24日（火）、第4回12月24日（火）、
第5回3月25日（火）

開催時間は総会終了後19：00から21：00

事業運営会議：第1回4月20日（土）、第2回6月25日
（火）、第3回7月23日（火）、第4回8
月27日（火）、第5回10月22日（火）、
第6回11月26日（火）、第7回1月28日
（火）、第8回2月25日（火）

開催時間は19：00から21：00

第1回運営会議は拡大会議とし、15：
00から開始、部長・委員長出席のも
と公益社団法人移行説明会も同時に
行う。

期末監査会：5月19日（日）9：00から11：00

同日に賛助会員懇談会も開催

新人オリエンテーション：6月1日（土）

(3) 学会・総会の準備状況について（報告）

- ・12：30より313号室で通常総会打合せが開催されると
報告があった。また、状況により会議室が変更になる
可能性があることが報告された。
- ・執行部推薦議長団として下記が選任された。

議 長：前田大助

（機能訓練特化型デイサービス 楽動）

副 議 長：酒井勇紀（小林病院）

書 記：進藤 隆（みらい堂整体院）、
早川智規（間中病院）

議事録署名人：飯田員頌（西湘病院）、秋山 稔（小澤病院）

(4) 各局部会委員会報告（報告・承認）

1. 事務局

① 会員異動報告、入会者の承認（報告・承認）

- ・前回理事会からの入会予定者1名が承認され、転入13名、
転出10名、復会1名、休会14名、退会5名、県内異動62名、
2013年2月19日現在での会員数は3,679名であることが
報告された。

② 各種団体よりの依頼事項の件（承認）

- ・（株）モノ・ウェルビーイングの賛助C会員入会が承認さ
れた。
- ・神奈川リハビリテーション病院より理学療法士卒業後研
修における後援依頼があり承認された。
- ・第3回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会神奈川大
会より「第3回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会神
奈川大会」後援名義使用許可依頼があり承認された。
- ・大和市長より大和市障害者介護給付等審査委員の推薦
についての依頼があり、永山定男氏を推薦することが
承認された。
- ・茅ヶ崎市社会福祉協議会より平成25年度障害者生活支
援センター専門援助相談（理学療法）事業実施に伴う
理学療法士の推薦についての依頼があり、坪内敬典氏
を推薦することが承認された。



③各部事業報告（報告・承認）

- ・総務部より総会委任状提出依頼のFAX通信及びホームページの原稿が提示され、会員に周知する予定との報告があった。

④その他

- ・公益社団法人神奈川県理学療法士会公印管理規程が誤字修正のもと承認された。

2. 学術局

①各部事業報告（報告・承認）

- ・学術講習部より第2回講習会（受講者98名）が12月16日に開催されたとの報告があった。
- ・第2回講習会において講師交通費（新幹線）の領収書がなかった（財布紛失のため）が講師の提示した金額の交通費を渡したことが報告された。
領収書がない場合の対応として、現在は理事の承認を得て支払することになっているが、細かい内規を作成する必要があるとの意見が出された。
- ・学術講習部より第3回講習会（受講者181名）が1月27日に開催されたとの報告があった。
第3回講習会において会員カードによる受付の際、まれにエラーメッセージが表示されるとの報告があったが、この件に関しては、内田理事より（公社）日本理学療法士協会へ報告することになった。
- ・学術講習部より平成25年度学術講習部主催講習会の予定について報告があった。
予定内容は下記の通りである。
 - ・摂食嚥下と呼吸 ・応用行動分析学
 - ・学習障害 ・脳科学と歩行 ・足底板
- ・臨床実習教育部より第2回臨床実習教育部研修会（受講者64名）が1月27日に開催されたとの報告があった。
- ・学術誌編集部より会報の発送についてプログラム抄録集と一緒に発送せず、3月号ニュースと発送するとの報告があった。
- ・第30回神奈川県理学療法士学会より下記の通りの報告があった。
 1. 演題3件取り下げを受理し、1件については抄録から削除、2件については掲示板にて案内する。
 2. 機器展示を断った業者
ヘルスアシスト株式会社・世界の医療団・株式会社ソルブ・本田技研工業株式会社に対して、申し込み期限を過ぎていたため、次回の第31回神奈川県理学療法士学会ならびに第49回日本理学療法学会を案内した。
 3. プログラム抄録集は2月5日より発送作業を開始し、正誤表を同封した。
 4. キッズルームの申込は4件である。
- ・学術大会部より第31回神奈川県理学療法士学会会場

がワークピア横浜に内定したとの報告があった。

- ・学術大会部より第30回神奈川県理学療法士学会の理学療法相談会の担当者を調整中との報告があった。
- ・第30回神奈川県理学療法士学会で「神奈川県内部障害リハビリテーション研究会」を含む15サークルが発表予定との報告があった。
- ・講習会、研修会、イベント当日用のPHSの準備が整い、2月24日新人教育プログラム研修会より活用予定との報告があった。PHSについては1台のみでの運用が難しいと思われるので今後、検討していくこととなった。

②その他

- ・賛助会員懇談会について今年度の開催は難しいため賛助会員にはその旨を通知することとなった。

3. 社会局

①医療専門職連合会からの報告（報告）

- ・大槻理事より定例理事会が1月22日に行われたとの報告があった。
- ・3月27日の総会において、本会から資格審査委員として惣田理事を選出することが承認された。

②各部事業報告（報告・承認）

- ・会員ライフサポート部より復職支援実務研修について下記の報告があった。
 1. 復職支援実務研修に1名の参加希望者あり
 2. 研修期間1日コースを検討中
 3. 来年度継続予定
 4. 研修施設の拡大のため情報収集を検討中
 5. 学校への広報及びPT・OT・STネットへの会員登録、広報依頼
- ・会員ライフサポート部よりニュースでの活動報告の企画をしていることと部員交代があるとの報告があった。
- ・スポーツ支援・健康増進部より下記の報告があった。
 1. 今年度のスポーツ理学療法講習会は終了
 2. メディカルサポート用のイベントウエア購入についての提案があり、意見はメールにて収集する。
 3. 次年度、部員の交代が数名ある予定
- ・介護保険部より3月31日に介護保険関連理学療法士実務者研修会が開催されるとの報告があった。
- ・相川理事より神奈川県訪問リハビリテーション振興委員会（仮称）準備委員会の事業を進めるにあたって、文書作成の方法等の質問があり、（公社）日本理学療法士協会が振興財団を立ち上げた時の方法を参考にしようとの意見が出された。ほかに、神奈川県訪問リハビリテーション振興委員会（仮称）の将来像の確定が必要、発起人から文書を出してはどうかなどの意見が出された。

理事会報告



- ・中途障害支援部より2月24日転倒予防教室が開催されるとの報告があった。
- ・公益事業推進部より下記の報告があった。
 1. 公益事業広報として次年度事業で使用する物品の進捗状況の報告
 2. 補正予算の執行状況
 3. かながわ地域フォーラムは、2月9日に実施され、参加者は123名であった。

③その他

- ・大槻理事より平成24年度提案型管理者育成を目指したワークショップに手塚純一氏、前田 玲氏が参加したが、詳しい報告は3月の理事会にて行うとの報告があった。

(5) その他

秋田会長より下記の点が文書にて報告された。

- ・2月16日に行われた第77回関東甲信越ブロック士会長会議の報告

①ブロック代表士会長が山梨県士会谷村会長から本会

秋田会長に交代。任期は2年で学会開催地ローテーションに従う輪番制とする。

②(社)東京都理学療法士会より次回学会についての報告。2013年11月2日、3日幕張メッセにて開催。学会案内、演題募集要項は印刷せずにウェブ上で公開する。

・これについて井上監事より、会員への周知徹底は各士会が行う事になっているので、秋田会長に確認後、議事録に残しておくよう検討するようコメントがあった。

③2014年度より会費を増額予定。

・山口かずゆき氏の選挙対応について各士会への協力依頼があった。

・神奈川リハビリテーション協議会の審査結果

(公社)日本理学療法士協会選挙について会員へ周知するために本会のホームページにも情報を掲載することとなった。

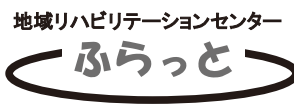
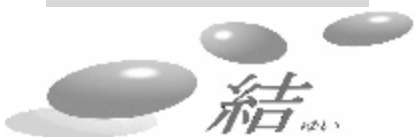
以上

リハビリテーションマインドで在宅生活をトータルに支える 足柄リハビリテーション

24時間看護

介護デイサービス

介護デイサービス
放課後等デイサービス



結(ゆい)訪問看護ステーション

地域リハビリテーションセンター ふうっ

デイサービスセンター Well(ウェル)

小田原市堀之内194-4 0465 (39) 3700

小田原市堀之内253-1 0465 (39) 2234

小田原市久野469 0465 (43) 6171

PT・OT・ST・看護師 募集中! TEL(39)373 <http://business4.plala.or.jp/ashiriha/>

自由 に走り回ることが出来る

リハビリ難民の再挑戦～足こぎ車いす

『最先端』のチェアサイクル

Profhand  045-852-8170
プロフハンド

 株式会社 星医療酸器





「理学療法士としての オールマイティー」

【オールマイティー
almighty…なんでも完全にで
きること、全能な】

私が理学療法士になり急性期病院で勤務し始めて、早2年が経過しようとしている。そもそもなぜ、急性期病院なのか。私が理学療法士の養成校に通っていた頃は、特にこれがやりたいという強い希望はなかったが、できるだけ幅広く経験し、オールマイティーになりたいという願望はあった。急性期病院のように多くの診療科があれば、より多くの経験を積めると思った。また、冒頭に挙げたalmightyの意味の様に、全能な理学療法士になりたかったわけではない（なれたらそれに越したことはないが…）。ただ、様々な疾患を抱えた患者さんに対してしっかりと治療できるようになりたかっただけだ。しかし、実際に理学療法士になり、患者さんのリハビリに携わっていかばいほど、しっかりと治療することがどれだけ難しいか実感するようになった。「ちよいんと」の執筆を機に、この2年間で感じてきたこと、悩んできたこと、そして、私の目指す「理学療法士としてのオールマイティー」を今一度考え直し、文章にしてみたい。

理学療法士になりたての1年目、わからないことばかりであり、とにかく仕事をこなしていくことに精一杯であった。急性期病院に勤務していると、術直後の患者さんを多く経験する。そのため、股関節疾患であれば股関節から、膝関節疾患であれば膝関節からと、局所からアプローチすることがほとんどだ。しかし、実際に治療をしていると、患部外の疼痛の訴えを聞いたり、いくら筋力トレーニングや歩行練習しても下肢の筋力が向上しない、杖歩行が安定しない…というような経験を多くするようになった。中々結果が出ないことに頭を悩ませつつ、色々試行錯誤を繰り返していたが、あっという間に1年目が終わりを迎えようとしていた。そんな中、第29回神奈川県理学療法士学会が小田原で開催され、勤務先が小田原であったため、スタッフとして学会の運営に関わるようになった。それがきっかけで、他施設の理学療法士と交流するようになり、学会が終わって1年が経過した現在でも交流は続いている。臨床の考え方、悩み事など互いに共有するようになり、回復期やクリニック等に勤務する理学療法士の視点を学ぶようになった。

2年目になり、院内の業務にも慣れてきて、1年目以上に臨床に頭と時間を割けるようになった。しかし、余裕が出てきた分、逆に何から手をつけていいかわからなくなることが多かった。そのため、2年目は院外の勉強会にも参

加するようしていたが、実際の臨床とギャップを感じることもあり、学んだことを十分に生かせずにいた。2年目も猛スピードで過ぎていこうとしたが、経験を重ねるうちにふとあることに気が付いた。それは「疾患」は運動器、脳血管、呼吸器、心大血管などと領域で分けられてはいるが、実際に理学療法士が治療にあたるのは「疾患」ではなく「人」であり、領域を超えて共通して考えられる部分も多いということだ。そして治療の対象は「人」であるのだから、局所のみではなく身体全体をみる必要があるのだと…。局所へのアプローチのみでは不十分だということ、勉強会で先生方が講演されていたことがようやくわかり始めた。また、急性期病院に勤務しているため、担当する患者さんの数が多いことや、すぐに転院してしまう場合があるため、一人一人に携われる時間が少なく、治療が中途半端に終わってしまうことをよく経験する。1年目は、患者さんが転院したらそれで満足している部分もあったが、2年目になってからは物足りなさを感じるようになった。私が介入できるのは、患者さんのリハビリ期間の始まりの一部分であり、その先の期間に携われないのは正直残念であった。しかし、小田原の学会以降、転院先の病院で私の知り合いが、私の患者さんを担当することがあり、患者さんがその後どうなったのか経過を聞ける機会を得るようになった。今までは転院する患者さんがどのように日常生活に復帰していくのか、あまり意識することがなかった。そのため、回復期でのリハビリの状況や急性期の理学療法士に対するニーズなどを聞くと、転院する患者さんを回復期任せにしていた部分がたとえ反省せざるを得なかった。転院する患者さんの予後予測から、どのように日常生活に復帰していくのかを想定し、回復期リハビリがよりスムーズに進められるように、準備することが急性期リハビリの役割だと感じた。

以上のことが、この2年間で私が悩み、感じてきたことである（他にもたくさんあるのだが…）。「疾患」ではなく、「人」を治療するという。「人」を治療するというは「局所」のみではなく「全体」をみなければならぬということ。「全体」というのは身体的なことのみではなく、社会的なことや今後の見通しも含まれるということ。このようなことを踏まえて臨床にあたることを、今の私が目指すべき「理学療法士としてのオールマイティー」としたい。基本的なことかもしれないが、今後、理学療法士として成長するためには大切なベースになるはずだ。もしかしたら、経験を積んでいく中で新たな見解が生まれ、専門性を高めたい領域が出てくるかもしれない。そうなれば、私の考える「理学療法士としてのオールマイティー」をベースにして、一つずつ積み上げていこうと思う。

小田原市立病院リハビリテーション室 大山由廉

解剖 こぼれ 話

五臓六腑ってどこだ？ —忘れられた臓器だった膵臓—

内臓は東洋医学では臓腑（五臓六腑）と呼ばれています。臓は実質器官の肝臓、心臓、脾臓、肺、腎臓の5つをいいます。腑は管腔器官の胃、小腸、大腸、胆嚢、

膀胱そして三焦になります。この三焦に相当するものは、リンパ管と言われています。あれ、膵臓がありませんね。五臓六腑の中には膵臓が含まれていないのです。膵臓は胃の後方と脊髄の間にあるため長い間忘れられた臓器だったのです。

古代ギリシャでは、膵臓は胃のクッションをする肉の塊と考えられ、パンクレアス (pancreas) と呼ばれていました。panは「すべて」、creasは、「肉」を意味します。現在の医学で、膵臓の位置や働きを知らない人はいないのですが、昔はお腹のクッション程度にしか考えていなかったのですね！

ちなみにですが、内臓を料理する場合は名前を変えて出しますね。いくつか挙げると、皆さんご存知のハツは心臓、これは英語のハートが由来と言われています。ガツは胃、レバは肝臓、マメはその形から腎臓、ミノは胃、サガリまたはハラミは横隔膜、コブクロは子宮、テッチャンは大腸、テッポウは直腸、カルビは肋間筋といろいろありますね。そうそう、焼肉屋に行くと、最初にタン塩レモンを注文して食べませんか？あれは牛の舌（タン）のスライスです。ということは、牛さんとキスしている…？

最後に、「ホルモン焼き」の語源ですが、一般的に捨てるような内臓、「放る物」を焼いて食べたことから、ホルモン焼きとついたといわれていますが、真意のほどはいかに。まだまだ、いろいろありますが語源を調べてみると面白く、理解が深まるのではないのでしょうか。

神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和
昭和大大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治

いい本みつけ。

クリッパンの老人たち スウェーデンの高齢者ケア

著者／外山 義 ●ドメス出版

古い本です。初版は確か1990年だから、出版からすでに20数年を経過しています。新卒の臨床家が生まれた年の本をこのページで紹介することは一寸躊躇われますが、このコーナーを担当することも、もうないかもしれないため、あえて紹介させて頂くことにしました。

内容は、著者の外山義氏が30歳を過ぎてスウェーデンの高齢者ケアに興味を持ち、7年間の留学研究時代を通して、交流をした地域

の老人たちの生活を丹念に描いたものです。当時すでに新鋭の建築家として活躍していた氏は仕事を辞めて、日本に家族を残し、ひとりスウェーデンでの研究生活に没頭したそうです。

その当時のスウェーデンの社会情勢や風土福祉国家としての文化について、時として生活者の視点から、また一方で新鋭の研究者としての視点で詳細なデータを積み上げ、美しい文章でまとめ上げられています。特に、第



3章の「老人の生活の自立を支えるため」では、「老人ケア」「施設」「住宅」「サービス」といったキーワードを散りばめながら、いま読み返しても全く古さを感じさせない内容に仕上がっています。散文は読みやすく、事実が物語のような軽快な語り口で進み、所々に著者がスウェーデンでとったデータを鏤めてあるために、妙な説得力があります。読み返しては、「こんな研究者になりたい」「こんな文章を書けるような人物になりたい」といつも勇気をもります。

そんな時に何度も読み返している本です。急性期の大病院に勤務したのに、建築学を学ぶために夜間大学に通い、大学院で建築を専攻したのも、この本からの強い影響です。陰の恩師と慕って、やがて著者と一緒に仕事をしようになり、多くのことを学ばせて頂く原点となりました。

私にとってこれほど人生に影響を与えた本はありません。そして、いまでもこの本を読み返すと多くの刺激やヒントに大いに奮い立ちます。皆さんにとって名著かは定かではありませんが、私にとっては人生に影響を与えた名著であることは間違いありません。

実はこの本は、理学療法士として歩み始めた年に偶然、本屋で見つけ、これまでに初心を忘れ下せいで。

昭和大大学保健医療学部 理学療法学科 中村大介

求人案内

川崎田園都市病院

理学療法士募集

当院は平成13年8月開院の療養型病院です。現在は3名の常勤理学療法士でリハビリテーションを実施しておりますが、重症化する患者さまに対応するために急性期若しくは回復期での経験がある理学療法士を必要としております。

募集人数：常勤1名

資格：理学療法士有資格者

勤務内容：入院患者さまへのリハビリテーション業務

勤務時間：9：00～17：00

休日：日曜日・祝祭日・年末年始病院休業日

(年間公休104日制+有給休暇)

待遇：月給250,000円以上

(経験により基本給を優遇致します。)

社会保険完備(健保・厚生年金・厚生年金基金・

雇用保険・労災保険)

昇給1回/年・賞与2回/年(基本給の4.5ヶ月相当)

交通費全額支給(職員専用駐車場完備)

勤務地：神奈川県川崎市麻生区片平1782番地

※柿生駅及び栗平駅から職員専用送迎バス10分

概要：内科医療保険病棟140床・内科介護保険病棟54床・
精神科介護保険病棟(老人性認知症疾患療養病棟)
111床

応募方法：電話連絡をしてから写真付き履歴書を御郵送下さい。

連絡先：TEL：044-988-1118

担当：事務長 松井 清隆

メールアドレス：k.matsui@otosiyori.com

URL：http://www.otosiyori.com/

医療法人愛生会 有馬病院

理学療法士募集

法人設立より50年近い歴史のある病院です。一般病棟29床、療養病棟40。地域の高齢者に医療、介護、リハビリ、訪問看護等を提供しています。「あわてず・いそがず・ていねいに・相手の身になって」がモットーのアットホームな病院で地域医療に取り組んでいただける方の応募をお待ちしております。

募集人数：常勤 非常勤 若干名

資格：理学療法士

勤務内容：外来、入院のリハビリ

勤務時間：常勤：平日8：30～16：30 土曜8：30～12：30

非常勤：応相談

休日：日曜・祝日、平日月1日、年末年始5日、夏期休暇3日、

有給休暇法定通り

待遇：月額275,000円～(経験考慮) 賞与年2回 社会保

険完備、交通費実費支給

勤務地：田園都市線鷺沼駅から徒歩15分(送迎あり)

概要：69床(一般29床、療養40床)

応募方法：電話にて面接日程調整(面接時：写真付履歴書持参)

お気軽にお電話ください。

連絡先：〒216-0003 川崎市宮前区有馬3-10-7

TEL：044-866-6118(直通)

担当：事務長 秋山

メールアドレス：arimahp_akiyama@nifty.com

URL：http://www.arima-byouin.or.jp/

介護老人保健施設 青葉の丘

理学療法士募集

多様なニーズに多職種にてご利用者、ご家族を支えていきます。ご家族のリハスタッフに対する信頼・期待も厚く、その気持ちに応えようとするリハスタッフがおります。

募集人数：1名

資格：理学療法士

勤務内容：入所利用者、通所リハビリ利用者の機能訓練

勤務時間：午前9時～午後5時30分

休日：毎月9日公休(2月は8日)※日曜日は施設行事以外
固定休

待遇：月額265,000円(新卒)～315,000円

賞与年2回 4.0ヶ月

社会保険完備

交通費支給(マイカー通勤者含)

勤務地：神奈川県横浜市青葉区元石川町6568

応募方法：電話連絡にて面接(見学)日程調整いたします。

連絡先：TEL：045-904-2255

担当：事務長 中川

メールアドレス：aoba@kxe.biglobe.ne.jp

URL：http://www.aobanooka.com/

社会医療法人財団 石心会 川崎幸クリニック

理学療法士(常勤)募集

募集人数：1名

資格：理学療法士(有経験者)

勤務内容：外来リハビリテーション(運動器・呼吸器・脳血管)、
訪問リハビリテーション

勤務時間：8：30～17：00 8：30～12：30

休日：104日 年末年始

待遇：基本給、住宅手当(10,000円)、各種保険完備、有
給休暇あり

勤務地：JR川崎駅、矢向駅から徒歩10分

応募方法：履歴書(写真貼付)、職務経歴書をご郵送してくだ
さい。

連絡先：〒212-0012 川崎市幸区南幸町1-27-1

川崎幸クリニック

担当：総務 横森

メールアドレス：k-yokomori@saiwaihp.org

URL：http://www.sekishinkai.or.jp/saiwaicl/

求人案内

介護老人保健施設 みどりの杜

理学療法士募集

社会福祉法人みどりの風 設立年月日平成10年1月9日
 入所定員100名 通所リハビリ定員1日30名 訪問リハビリ
 周囲を自然に囲まれた穏やかな環境の中、笑顔絶えない明るい施設を目指して努力しております。
 現在理学療法士3名作業療法士1名でサービス提供しております。

募集職種：理学療法士

募集人数：1名

資格：理学療法士

勤務内容：入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリの利用者のリハビリテーション

勤務時間：8：45～17：45

休日：土曜、日曜、夏季休暇、年末年始休暇

待遇：基本給200,000円～250,000円

調整手当 基本給の6%

資格手当 10,000円

運 hands 5,000円

住宅手当 15,000円(条件有)

扶養手当 配偶者10,000円 第1子5,000円

賞与年2回4ヶ月分 昇給2%

看護休暇実績有 介護休暇実績有 育児休業実績有
 加入保険(雇用・労災・健康・厚生)

退職金共済有 年金制度有(勤続2以上) 定年65歳
 マイカー通勤可(駐車場無料)

勤務地：神奈川県横浜市緑区西八朔町99-1

応募方法：電話連絡の上、随時面接を行います。

連絡先：TEL：045-929-5000

担当：佐藤

メールアドレス：kkojim@d2.dion.ne.jp

URL：http://www.midorinokaze.or.jp

ケアーズ久里浜訪問看護リハビリステーション

理学療法士募集

平成25年2月1日にオープンした新しいステーションです。
 横須賀地域では理学療法士を心待ちにしている「利用者さま・ご家族さま」がたくさんいらっしゃいます。
 訪問リハビリは未経験でも親切に教えます。
 現在、看護師6名、PT1名、OT1名、ST1名
 (京急北久里浜駅徒歩4分・マイカー通勤OK)

募集人数：2名

資格：有資格者

勤務内容：訪問リハビリテーション

社用車にて利用者宅に訪問します
 (最初は同行します)

訪問件数は午前2件、午後3件位です

勤務時間：常勤

8：30～17：30(実働8時間)

残業はほとんどありません

パートタイム勤務

週2日～勤務曜日、時間応相談

休日：土、日、祝祭日、夏季、年末年始

待遇：月給30万円+訪問手当4,500円/1件(※81件から支給)
 賞与年2回、交通費全支給、社会保険完備、退職金制度あり

有給休暇、マイカー・バイク通勤可能、訪問車1人1台
 (カーナビ付き)、制服貸与、各種イベントあります
 月収例41万2,500円(訪問105件の場合)
 年収例600万円以上(41万2,500円×12ヶ月+賞与2回)

勤務地：横須賀市根岸町3-7-9 プランナーズビル2F

応募方法：電話にてご応募ください。

連絡先：TEL：046-884-8071

担当：後藤所長

メールアドレス：h-goto@care-kuri.co.jp

URL：http://www.towa-cast.net

Wheelchair for Seating



日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730
 ○九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854
 ○関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927
 ○千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935
 ○福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では
 福祉用具レンタル・販売
 も取り扱っています



車いすなんでも相談



求人案内

株式会社ルネサンス

理学療法士募集

全国113の施設で、約36万人の会員数を誇るスポーツクラブ「ルネサンス」東証一部上場企業でもある当社を、リハビリテーションのスペシャリストとして支えてくださる方を求めています。

募集人数：若干名 新卒の方も募集しています。

資格：理学療法士免許

勤務内容：リハビリテーション特化型通所介護施設での個別リハビリテーション

勤務時間：8：30～17：30（休憩1時間）

休日：年間休日119日（完全週休2日制、年末年始休暇、季節休暇含む）※2012年度、年次有給休暇（初年度13日）、慶弔休暇、産前産後休暇、介護休暇、育児休業（最長3年）

待遇：■給与

新卒者：月給 230,000円～

経験者：月給 270,000円～

給与例／年収420万円

（月給27万円+賞与+時間外手当）

■諸手当

住宅手当

（単身者上限41,000円、扶養者有者上限61,000円）

家族手当、通勤手当、時間外・休日勤務手当

■昇給・賞与

昇給／年1回 賞与／年2回（7月・12月）

勤務地：※神奈川県、東京都エリアに順次オープン予定（2012年12月現在、神奈川県2施設（大船、港南台）

応募方法：下記書類送付先に、履歴書（写真添付）および職務経歴書を郵送ください。

※履歴書には、必ずメールアドレス（携帯不可）を明記してください。

※ご応募の際にいただきました個人情報、応募登録・選考時の判断資料、ならびに入社時必要書類としてのみ利用し、その他の目的には利用しません。※お送りいただいた書類につきましては、合否にかかわらず返却しかねますので、あらかじめご了承ください。

《送付先》

〒130 - 0026 東京都墨田区両国2-10-14

両国シティコア8階

株式会社ルネサンス 人事部採用担当 宛

施設見学可

神奈川県横浜市港南台の営業所で随時見学を受け付けております。

事前にお越しいただく日を電話でお知らせください。

連絡先：TEL：045-830-6880

担当：橋本（ハシモト）

メールアドレス：hashimoto_t@s-renaissance.co.jp

URL：http://www.s-renaissance.co.jp/

神奈川県総合リハビリテーションセンター

理学療法士募集（産休・育休代替職員）

神奈川県総合リハビリテーションセンターは2つの病院、3つの社会福祉施設、看護学校、地域支援センター、研究部からなりたっています。当センターでは心身に障害のある方々に対し、医学、教育、職業、社会福祉等各専門分野の英知を結集し、残存機能の回復、潜在能力の開発・助長、社会生活力の獲得など、社会復帰へのあらゆる可能性を一人ひとりについて明らかにするため、診断、治療、総合評価、看護、リハビリテーション訓練、生活支援などを一貫して行い、早期社会復帰を図れるよう支援しています。

募集人数：常勤（臨時職員）4名

採用予定日：平成25年4月1日以降、随時

資格：有資格者

勤務内容：病院における理学療法士業務

勤務時間：8：30～17：15

休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始6日

待遇：月額（職務手当含む）

大卒：193,200円 短大卒：185,800円

※上記金額は新卒者の場合。既卒の方は経験年数を加算して初任給を算定。

社会保険完備、有給休暇有り。

交通費全額支給

勤務地：①神奈川リハビリテーション病院又は

②七沢リハビリテーション病院脳血管センター

①：小田急線本厚木駅もしくは愛甲石田駅から神奈中バスで30分

②：小田急線愛甲石田駅から神奈中バスで30分

概要：神奈川県総合リハビリテーションセンター内の病院での就業

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒243-0121 厚木市七沢516

TEL：046-249-2240 FAX：046-249-2247

担当：事務局総務職員課 藤岡、門倉

メールアドレス：shokuin@kanagawa-rehab.or.jp

URL：http://www.kanagawa-rehab.or.jp

武 整形外科

理学療法士募集

募集人数：常勤又は非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務時間：8：30～18：30

休日：週休2日 年末年始休暇 夏季休暇

待遇：基本給・年俸制 調整手当は規程による 社会保険完備 交通費全額支給

勤務地：京浜急行バス 竹川バス停より徒歩1分

概要：整形外科医院・通所リハビリテーション

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒238-0313 横須賀市武3-5-36

TEL：046-857-2000 FAX：046-857-2001

担当：角井

求人案内

医療法人社団 守成会 広瀬病院

理学療法士（常勤）募集

病床数（一般病床：37床 療養病床：34床）
当院は救急基幹病院の後方支援病院として救急医療を支援している地域に密着した病院です。

入院患者の早期在宅復帰の推進、心疾患、特に末期心不全患者に対するリハビリを積極的に行っています。

部署としての任されている役割も大きくやりがいのある職場です。

募集人数：若干名

資格：理学療法士（経験者）

勤務内容：入院・外来患者様に対する理学療法全般

勤務時間：8：30～17：30

休日：4週8休+祝日、年間休日129日（前年度実績）

待遇：27万円以上～（経験により優遇）

昇給 年1回 賞与 年2回（6月、12月）

社会保険完備、制服貸与、退職金制度有、マイカー通勤可

休日は上記他、夏期、年末年始、慶弔、年次有給

勤務地：JR横浜線 橋本駅 バス15分 バス停徒歩30秒

応募方法：TEL後、履歴書（写真貼付）をご郵送ください。

連絡先：TEL：042-782-3021

担当：大西

メールアドレス：jinji@hirose-hospital.com

URL：http://www.hirose-hospital.com/

(医)啓和会 野末整形外科歯科内科

理学療法士募集

川崎市川崎区内の半径500mのエリアに27の事業所を展開する地域密着型の医療法人です。医療・介護・福祉の一環した地域包括ケアを提供し、地域の方々のQOLの向上を目指しています。

募集人数：3人

資格：理学療法士

勤務内容：整形外科、通所リハビリテーションにおける理学療法士業務

勤務時間：9：00～17：00

※パート勤務の方も歓迎します。勤務時間相談に応じます。

※基本的に残業はありません。

休日：日祝他（4週6休）・年末年始（非常勤の方も歓迎）

待遇：給与は当法人規程通り（経験者優遇）

社会保険完備・有給休暇6か月経過後10日

昇給年1回、賞与年2回（平成24年度実績）

※昇給賞与は法人実績等による。

定年70歳・試用期間2か月あり

勤務地：川崎市川崎区小田5-1-3

応募方法：電話連絡の上、面接にお越しください。見学も歓迎！

連絡先：TEL：044-366-6200又はTEL：080-4187-9402

担当：総務 柴山

メールアドレス：soumu-shibayama@wonder.ocn.ne.jp

URL：「啓和会 川崎」で検索してください。

介護老人保健施設スカイ

理学療法士募集

多職種共同で常に施設介護を実践しています。明るく、にぎやかな施設です。

募集人数：常勤1名もしくは非常勤2名

資格：理学療法士

勤務内容：高齢者の機能訓練、維持または回復

勤務時間：8：30～17：30

休日：常勤者月約10日（但し日曜は固定休）

待遇：基本給、資格手当は規程による。託児室あり、社会保険完備、有給あり、交通費全額支給

勤務地：神奈川県保土ヶ谷区常盤台84-1と鶴見へ週一回出張あり、三沢上町駅徒歩15分、車通勤可

概要：入所定員142名、通所定員37名、ショートは空きベット利用

応募方法：電話にてまたはメールにて連絡の上、履歴書、資格書持参の上面談

連絡先：TEL：045-348-1007

担当：事務長 鈴木 純子

メールアドレス：jun@saturn.plala.or.jp

復職支援実務研修のお知らせ

目的：臨床から離れたことにより復職に不安を感じている方に、現場での研修を通じて自信をつけてもらうことを目的とした研修です。

対象者：離職中の神奈川県理学療法士会会員（復職先が決まっている方は対象外）

研修先：希望の地域、職域（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます

※研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています

期日：5時間×5日間分（連続5日間でもなくてもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
1日のみの研修も相談に応じます

受講費：5,000円

申込締め切り：平成26年2月14日

問い合わせ先：下記までメールでお願いします。

詳しくは県士会ホームページをご覧ください

lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

（会員ライフサポート部 寺尾）

求人案内

公益財団法人 藤沢市保健医療財団

理学療法士募集

当財団は藤沢市内の健康づくり事業、介護予防事業などの受託事業を中心に保健事業全般を担い、市民の健康増進支援を行っています。見学や勤務条件のご相談などについてはお気軽にお問い合わせ下さい。

募集人数：非常勤 1名

資格：理学療法士免許取得者

勤務内容：保健事業全般（各種保健事業、介護予防事業、健康づくり事業等）

勤務時間：月～金8：30～17：15

※週4日程度の勤務も可（応相談）

休日：土日祝日（その他、財団規定に基づく）

待遇：時給1,600円（交通費別）

勤務地：藤沢市大庭5527-1

応募方法：電話連絡の上、写真付き履歴書送付

連絡先：〒251-0861 藤沢市大庭5527-1

（公財）藤沢市保健医療財団 保健事業課

TEL：0466-88-7311 FAX：0466-88-7353

担当：PT 店橋（たなはし） 保健師 鈴木

メールアドレス：ho-shien@fhmc.or.jp

URL：http://iryo.city.fujisawa.kanagawa.jp

磯子中央病院

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士募集

当院では、急性期～回復期～外来リハビリテーションを一貫して行っております。

整形外科疾患、脳血管疾患中心に発症・術後～在宅復帰までを担う、地域密着型の病院です。

平成22年1月に新築移転し、同年3月より回復期リハビリテーション病棟を開院いたしました。

募集人数：PT（5名：新卒可）、OT（1名：経験者）、

ST（1名：経験者）

資格：有資格者

勤務内容：急性期、回復期、外来リハビリテーション

勤務時間：8：30～17：00、9：00～17：30（シフト制）

休日：年間114日（完全週休2日制+10日）

待遇：社会保険完備

勤務地：JR根岸線 磯子駅より徒歩12分

概要：一般病棟 120床、回復期病棟 60床

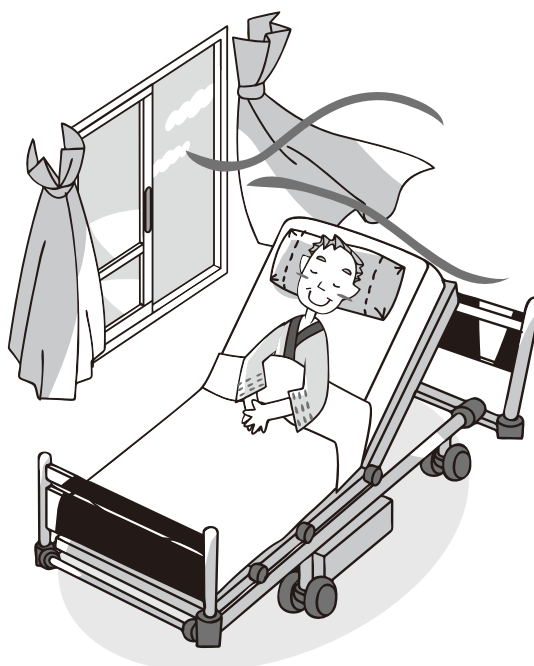
応募方法：メール・電話連絡の上、履歴書送付していただき、面接致します。

連絡先：TEL：045-752-1216

担当：山下 千枝子（ヤマシタ チエコ）

メールアドレス：jinji@isogohp.jp

URL：http://www.isogohp.jp



求人情報はホームページでも確認できます。

<http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/recruit2/>

編集後記

新年度を迎え、ひと月が経ったところですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年度もニュース編集部の活動に御理解ならびに御協力下さいますよう、よろしく願い申し上げます。

今年は例年より早く桜開花の便りが聞かれましたが、日差しが暖かく感じられ草木が芽吹くこの季節は、やはり新しいことに取り組むにはうってつけですね。欧米にならって9月からの年度始まり、大学では秋入学を導入する案もあるようです。国際化、グローバル化の視点からメリットは多々ある一方で、真夏の卒業式や残暑厳しい中での新年度スタートは、ニッポンの風土に合わないような気もしてしまいます。

何はともあれ、平和なニッポンの春の陽気に感謝しつつ、平成25年度のスタートを切りました！私事ですが、学年担任を務めた4年生を3月に送り出し、何となく静かになったような大学内に一抹の寂しさを覚えつつも、清々しい気持ちであります。県士会ニュースを手にとられる皆様の御健康と御多幸を祈りつつ、新社会人となった彼ら卒業生の活躍を期待（周囲への御迷惑を心配）する今日この頃です。

加茂野

次号の原稿締め切りは**6月6日**です。

昭和大学保健医療学部理学療法学科（ニュース編集部宛）

FAX 045-985-7584

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願い致します。

ー 求人広告掲載についてのお知らせ ー

求人広告はホームページの求人掲載方法からお申込下さい。

ホームページ：http://www.pt-kanagawa.or.jp/

お問合せは下記迄お気軽にお寄せ下さい。

◎宛先

〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12 アーリア20 101号

神奈川県理学療法士会 事務局内 広告担当宛

TEL. 045(326)3225 / FAX. 045(326)3226

メールアドレス：kohkoku@pt-kanagawa.or.jp

受付時間：平日 10:00～17:00

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

部長：加賀谷善教（昭和大学保健医療学部）

部員：中村 大介（昭和大学保健医療学部）

山崎 弘嗣（昭和大学保健医療学部）

稲葉 康子（昭和大学保健医療学部）

加茂野有徳（昭和大学保健医療学部）

神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会HPに掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから

https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



（年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます）

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努

マックス ユニバーサルサイクル

Coolcle-S



安心して乗れる
シニアのための自転車、**できました。**

4つのタイヤで倒れにくく、みんな安心… **気**持ちも爽やか、からだも活き活き…
ちょっと遠くまで、らくらくお出かけ… **ク**ールSに乗って、楽しく介護予防…



MAX

希望小売価格
¥97,650（税込）

●お問い合わせは… **マックス株式会社** HCR営業G 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL.(03)3669-0713 FAX.(03)5695-7915

マックス www.max-ltd.co.jp